

2024 環境変化対応調査事業

# SDGs推進に関する実態調査 【報告書】



2024年11月25日  
奈良県中小企業団体中央会

# 目次

---

ページ	タイトル
p.3	アンケート調査概要
p.4	回答者の基本情報
p.9	SDGsの認知度と取組状況
p.29	期待する支援策と中央会に期待すること
p.31	SDGs企業認証制度への期待
p.34	SDGsに関連する問題
p.36	ヒアリング調査
p.43	全体総括
p.46	アンケート調査票



# はじめに

---

2015年に国連が策定した持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年を達成年限としており、その達成に向けた取組が国際的に進展しています。

SDGsは、貧困の撲滅、質の高い教育の提供、クリーンエネルギーの普及など、17の目標を掲げており、これらの目標を達成するためには全ての企業と個人の協力が必要不可欠です。特に、国内では大企業を中心にSDGsの取組が積極的に進められている一方で、中小企業・小規模事業者においても、取引・販売関係、人材採用、資金調達の見点等から、その必要性が急速に高まっている状況にあります。

このような背景のもと、奈良県中小企業団体中央会（以下、当会）では、SDGs推進における今後の効果的な支援を展開するための基礎資料とすることを目的に「SDGs推進に関する実態調査」を実施しました。また、今回、当該調査を通じて得られたデータと分析結果をとりまとめ、組合におけるSDGsの取組に関する実態を明らかにするとともに、当会における今後の対応策や支援策を示すことを目的に、本報告書を作成しました。

組合を含む中小企業・小規模事業者が積極的にSDGsに取り組むことで、取引先や顧客からの信頼を高めるだけでなく、人材の採用や定着、さらには資金調達等も円滑に進む可能性があります。今回の実態調査ならびに本報告書がその一助となれば幸いです。

今後とも、持続可能な社会の実現に向けた取組にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。奈良県中小企業団体中央会としましても、組合のご意見やご要望を反映させながら、より効果的な支援策を講じてまいります。

持続可能な未来のために、共に努力し、連携を深めていきましょう。

# アンケート調査概要

## 【調査方法】

自記入による記述式：書面（郵送）・ウェブフォームによるアンケート

## 【調査対象者】

奈良県中小企業団体中央会 会員組合（181組合）

## 【アンケート調査票】

「V. 付録（アンケート調査票）」参照

## 【回答数】

120件（66.3%）

## 【調査内容】

SDGs推進に関する実態調査

- ①SDGsの認知度と取組状況
- ②SDGsの推進に向けて期待する支援策と中央会に期待すること等
- ③SDGs企業認証制度への期待
- ④SDGsに関連する問題など

## 【調査期間】

令和 6年 6月 10日より 7月 5日の期間

## 【図表についての特記事項】

構成比の数値は、小数点以下第1位を四捨五入し丸めているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とまらない場合がある。



- SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標
- 2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた
- 貧困、気候変動、人権やジェンダーに起因する差別など、2030年を達成年限とした17の目標（ゴール）と、それを達成するための169のターゲット（ゴールを達成するためのより具体的な目標・指標）から構成されている

# I.回答者の基本情報

---

## ※小企業者組合と中小企業組合の定義

本報告書では、組合を小企業者組合と中小企業組合に分けて集計している場合がある。  
それぞれの定義は以下のとおり。

小企業者組合	中小企業組合
常時使用する従業員の数が5人（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については2人）以下の会社及び個人でその構成員の3/4以上で組織されている組合	小企業者組合以外の組合

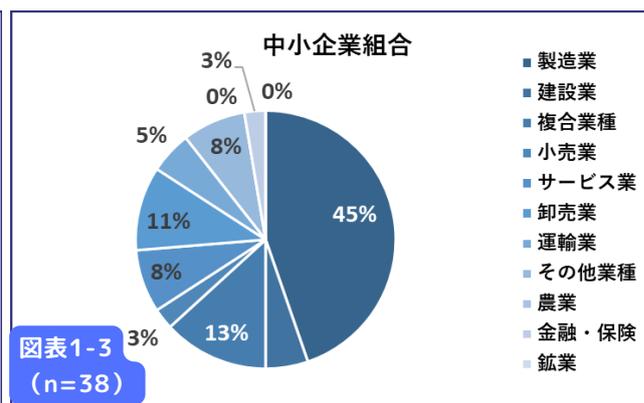
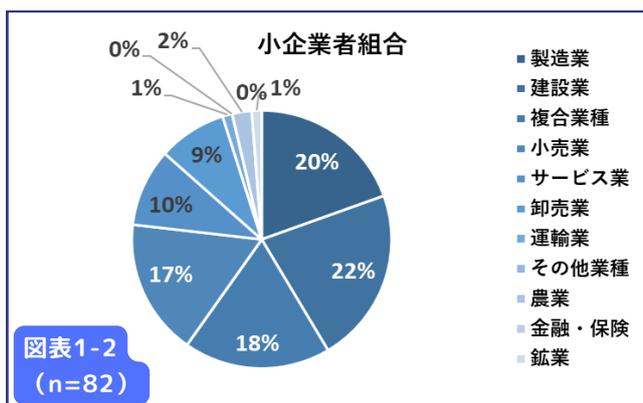
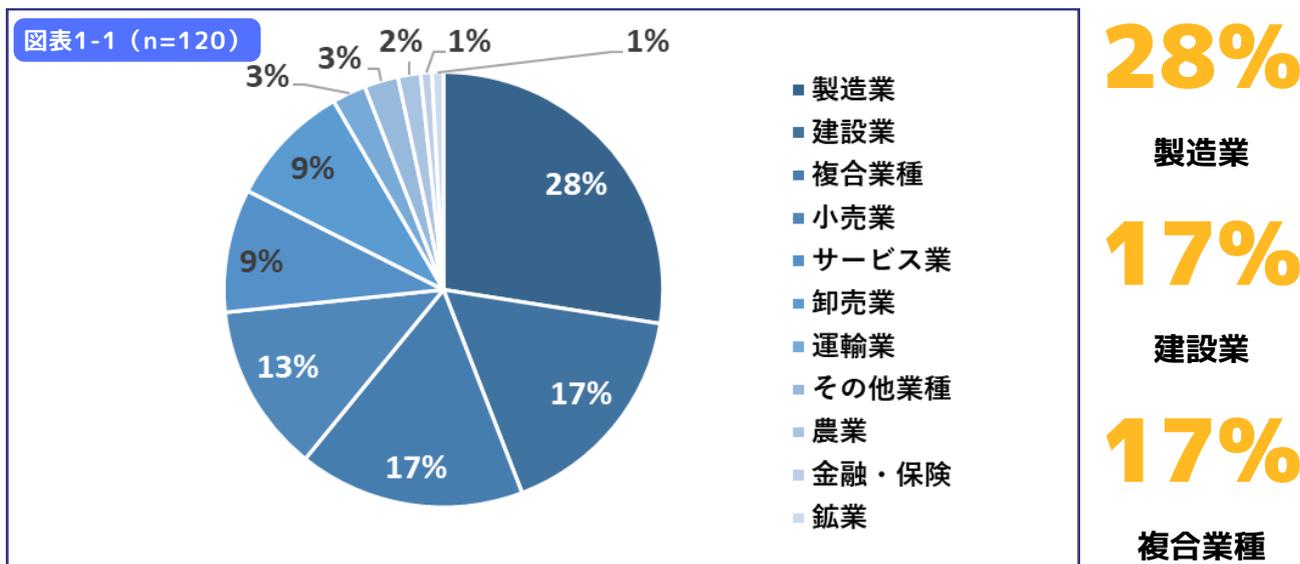
# I. 回答者の基本情報

## 1. 業種

アンケートについては、120組合からの回答を得ることができた。業種別の内訳では、製造業が小企業者組合では20%、中小企業組合では45%と、合計で全体の約28%を占めている。

建設業は小企業者組合では22%、中小企業組合では5%、複合業種は小企業者組合が18%、中小企業組合が13%で、建設業及び複合業種ともに全体の17%を占めており、2番目に多い業種となっている。

小企業者組合とそれ以外では業種別の割合に顕著な違いが見られ、特に製造業は中小企業組合での割合が高く（製造業33件のうち17件が中小企業組合）なっている（図表1-1～1-4）。



図表1-4

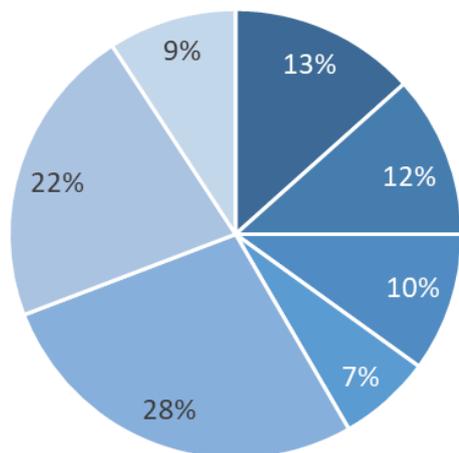
	小企業者組合		中小企業組合		総計	
	件数	%	件数	%	件数	%
製造業	16	20%	17	45%	33	28%
建設業	18	22%	2	5%	20	17%
複合業種	15	18%	5	13%	20	17%
小売業	14	17%	1	3%	15	13%
サービス業	8	10%	3	8%	11	9%
卸売業	7	9%	4	11%	11	9%
運輸業	1	1%	2	5%	3	3%
その他業種	0	0%	3	8%	3	3%
農業	2	2%	0	0%	2	2%
金融・保険	0	0%	1	3%	1	1%
鉱業	1	1%	0	0%	1	1%
合計	82	100%	38	100%	120	100%

## 2. 組合員数

組合員数の範囲で比率が高いのは11～20名の28%、次いで高いのが5～10名の22%となっている。101名以上の組合は13%となっている。

51～100名は12%、31～50名から構成される組合は10%となっている（図表2-1～2-4）。

図表2-1 (n=120)



- 101名以上
- 51～100名
- 31～50名
- 21～30名
- 11～20名
- 5～10名
- 5名未満

**28%**

11～20名

**22%**

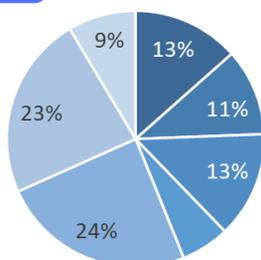
5名～10名

**13%**

101名以上

図表2-2 (n=82)

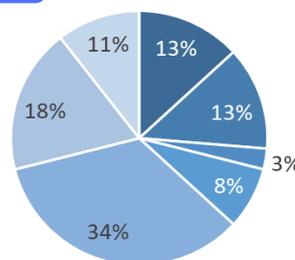
小企業者組合



- 101名以上
- 51～100名
- 31～50名
- 21～30名
- 11～20名
- 5～10名
- 5名未満

図表2-3 (n=38)

中小企業組合



- 101名以上
- 51～100名
- 31～50名
- 21～30名
- 11～20名
- 5～10名
- 5名未満

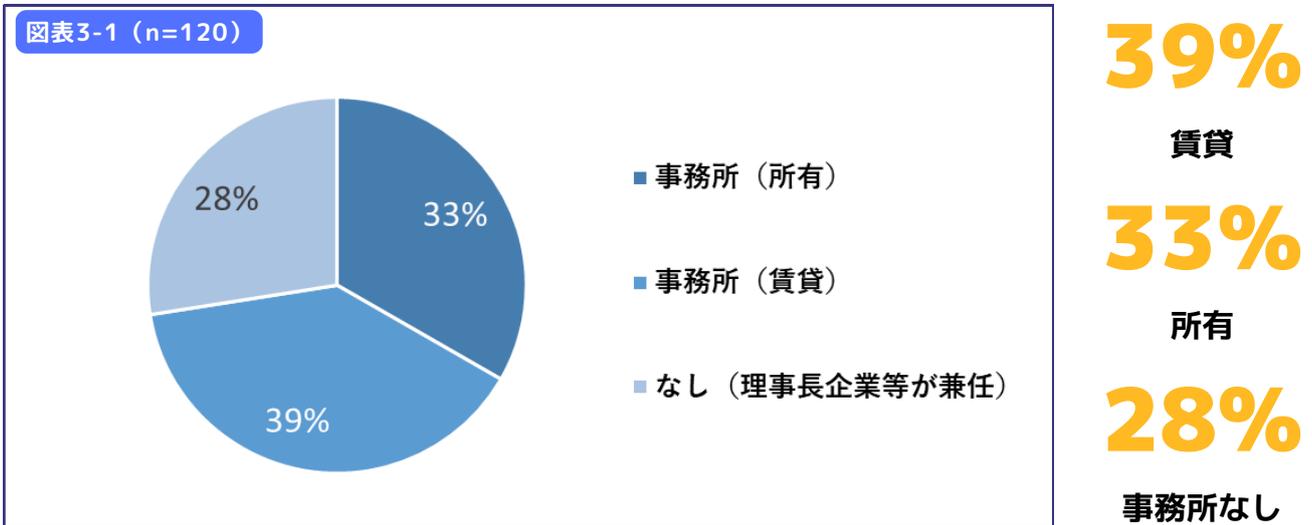
図表2-4：組合員数の範囲（回答件数）

組合員数範囲	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
				101名以上	11	5	16	1	4	0	3	4	0	0
51～100名	9	5	14	5	2	4	1	0	0	2	0	0	0	0
31～50名	11	1	12	1	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0
21～30名	5	3	8	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
11～20名	20	13	33	10	4	6	4	1	6	0	0	2	0	0
5～10名	19	7	26	9	5	3	4	3	2	0	0	0	0	0
5名未満	7	4	11	3	1	2	0	1	2	1	0	0	0	1
合計	82	38	120	33	20	20	15	11	11	3	3	2	1	1

### 3. 組合事務所の設置状況

事務所を所有しているのは、33%（小企業者組合26%・中小企業組合50%）、賃貸は39%（小企業者組合で39%・中小企業組合39%）となっている。

一方で、事務所なし（理事長企業等が兼任）と回答した組合は28%（小企業者組合で35%・中小企業組合で11%）となっている（図表3-1～3-2）。

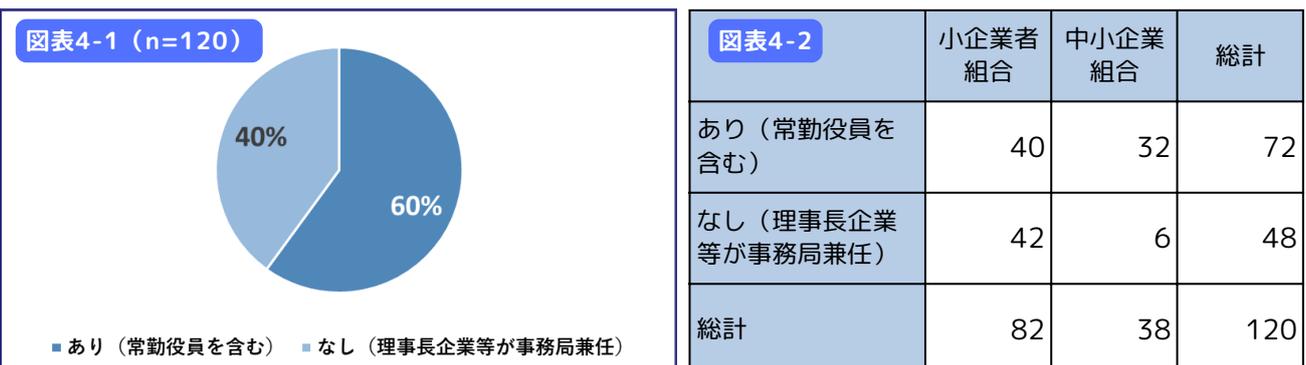


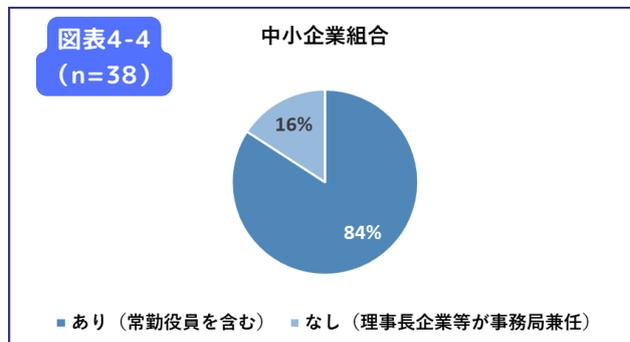
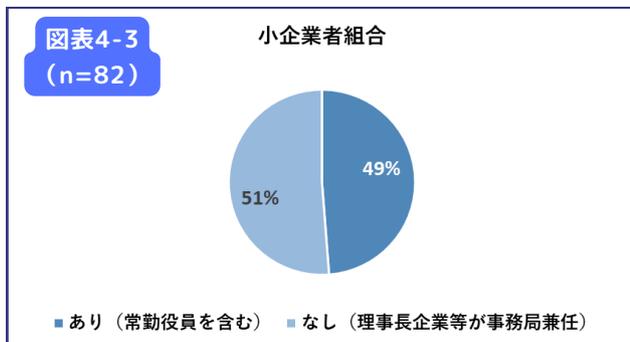
図表3-2：組合事務所の設置状況（回答件数）

	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
事務所（所有）	21	19	40	20	8	2	3	3	3	0	1	0	0	0
事務所（賃貸）	32	15	47	6	11	9	7	5	3	2	2	0	1	1
なし（理事長企業等が兼任）	29	4	33	7	1	9	5	3	5	1	0	2	0	0
合計	82	38	120	33	20	20	15	11	11	3	3	2	1	1

### 4. 事務局雇用役職員の有無

60%（小企業者組合49%・中小企業組合84%）の組織が常勤の事務局職員を雇用している。一方で、40%（小企業者組合で51%・中小企業組合16%）の組織が事務局職員を雇用していない（図表4-1～4-4）。

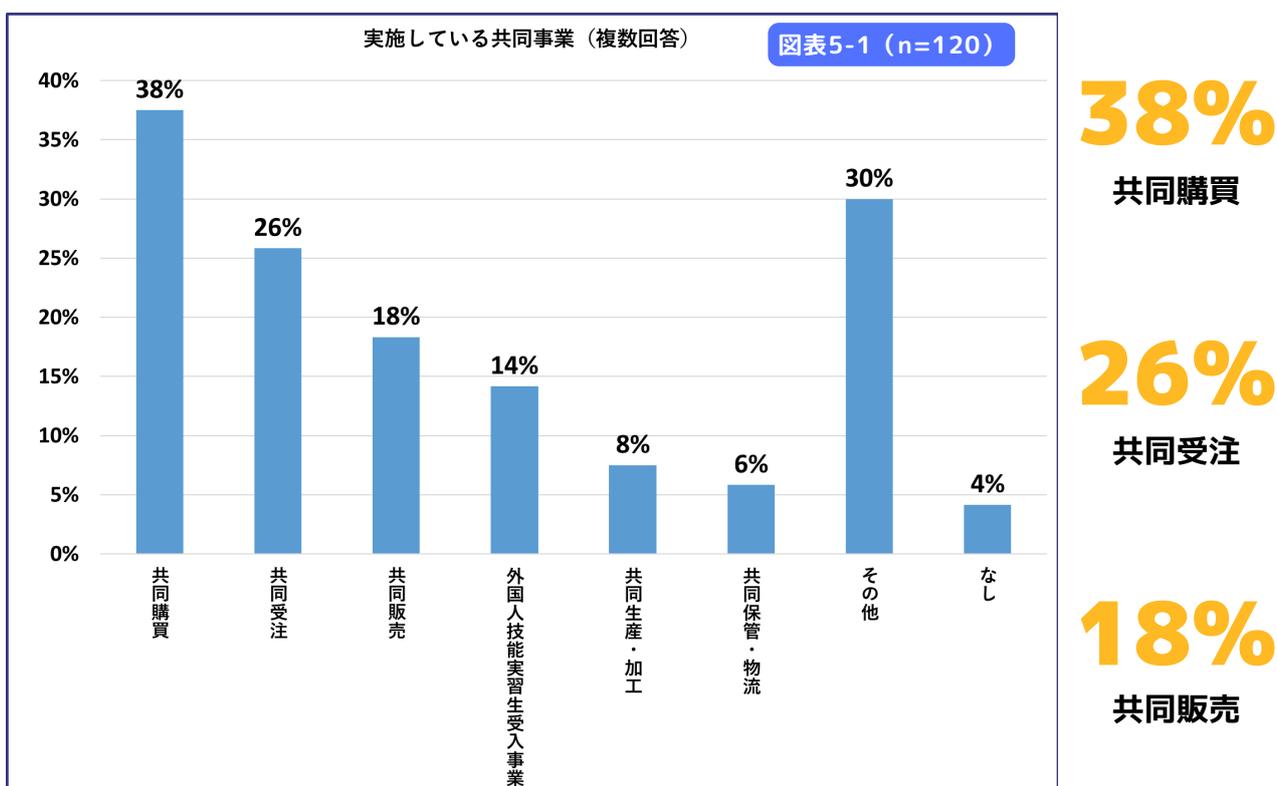




## 5. 実施している共同事業

共同購買が最も多く実施されており、38%を占めている。次いで共同受注（26%）、共同販売（18%）、外国人技能実習生受入事業（14%）が続いている。

共同生産・加工、共同保管・物流などは件数が少なく、それぞれ10%未満となっている（図表5-1～5-2）。



**図表5-2：実施している共同事業（回答件数）**

共同購買	共同受注	共同販売	外国人技能実習生受入事業	共同生産・加工	共同保管・物流	その他	なし	総計
45	31	22	17	9	7	36	5	120
38%	26%	18%	14%	8%	6%	30%	4%	-

その他の具体的な事業内容としては、教育情報提供事業（教育情報事業含む）、共同宣伝、アーケードの管理、事務の代行（労災保険の事務代行含む）、講習会、商標管理、原木市売り事業、金融事業、情報提供、共同計算事務・職業訓練等、保険事業、不動産賃貸などが挙げられた。

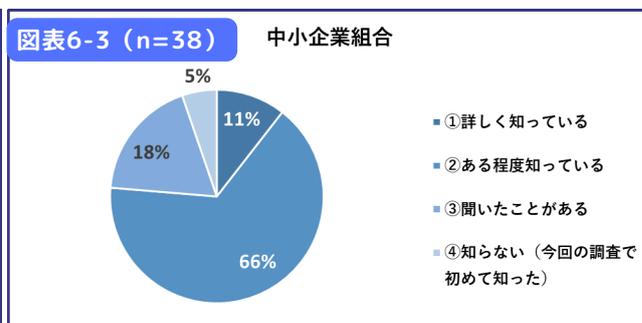
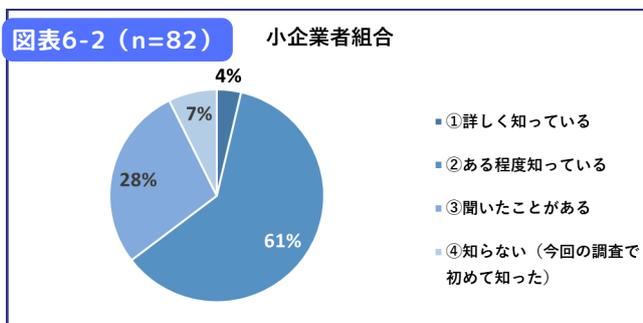
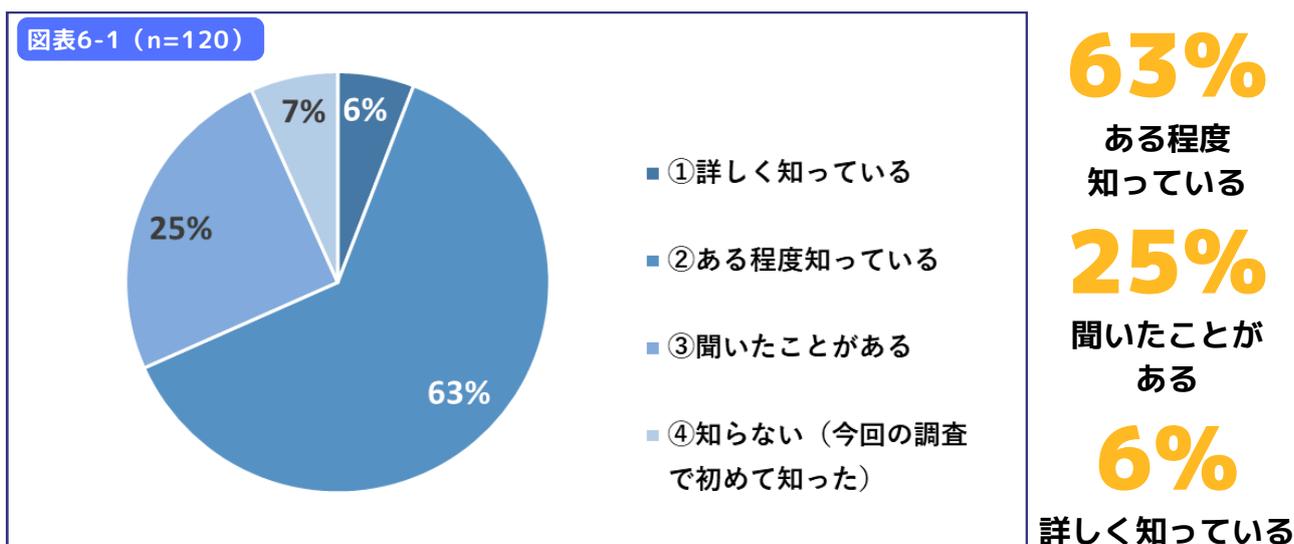
# II.SDGsの認知度と取組状況

---

## II. SDGsの認知度と取組状況

### 1. SDGsについて知っていますか

SDGsについては「詳しく知っている」が6%（小企業者組合4%、中小企業組合11%）となっている。また、「ある程度知っている」と答えたのは63%（小企業者組合61%・中小企業組合66%）、「聞いたことがある」は25%（小企業者組合28%・中小企業組合で18%）であった。一方で、「知らない（今回の調査ではじめて知った）」のは7%（小企業者組合7%・中小企業組合5%）となっている（図表6-1～6-4）。



図表6-4：SDGsを知っているか（回答件数）

	小企業者組合	中小企業組合	総計
①詳しく知っている	3 (4%)	4 (11%)	7 (6%)
②ある程度知っている	50 (61%)	25 (66%)	75 (63%)
③聞いたことがある	23 (28%)	7 (18%)	30 (25%)
④知らない（今回の調査で初めて知った）	6 (7%)	2 (5%)	8 (7%)
総計	82 (100%)	38 (100%)	120 (100%)

### 2. SDGsの組合業種別認知度

大多数の組合がSDGsについて「ある程度知っている」または「聞いたことがある」と回答しており、「詳しく知っている」組合は非常に少数となっている。

また、製造業やその他業種においては、4件と少数ではあるが「詳しく知っている」と回答している組合もあり、他の業種に比べてSDGsに対する認識が進んでいる可能性がある。一方で、建設業や複合業種、卸売業等では「詳しく知っている」組合はなく、「ある程度知っている」という回答が多い傾向にある（図表7-1～7-2）。

「詳しく知っている」組合は少数であることから、SDGsの推進に向けては、さらなる認知度の向上を図るための具体的で詳細な情報提供や教育、啓発活動等が必要と思われる。

図表7-1：SDGsの業種別認知度（回答件数）

業種別回答件数	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
①詳しく知っている	3	4	7	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
②ある程度知っている	50	25	75	24	12	16	4	6	10	0	0	2	0	1
③聞いたことがある	23	7	30	5	6	3	8	4	1	2	0	0	1	0
④知らない（今回の調査で初めて知った）	6	2	8	0	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0
総計	82	38	120	33	20	20	15	11	11	3	3	2	1	1

図表7-2：SDGsの業種別認知度（業種別の回答件数に対する割合）

業種別回答状況	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
①詳しく知っている	4%	11%	6%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%
②ある程度知っている	61%	66%	63%	73%	60%	80%	27%	55%	91%	0%	0%	100%	0%	100%
③聞いたことがある	28%	18%	25%	15%	30%	15%	53%	36%	9%	67%	0%	0%	100%	0%
④知らない（今回の調査で初めて知った）	7%	5%	7%	0%	10%	5%	20%	9%	0%	33%	0%	0%	0%	0%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

### 3. SDGsを知ったきっかけ

SDGsについて、「詳しく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことがある」と回答した組合（112組合）に対して、SDGsを知ったきっかけについて質問（複数回答）した。

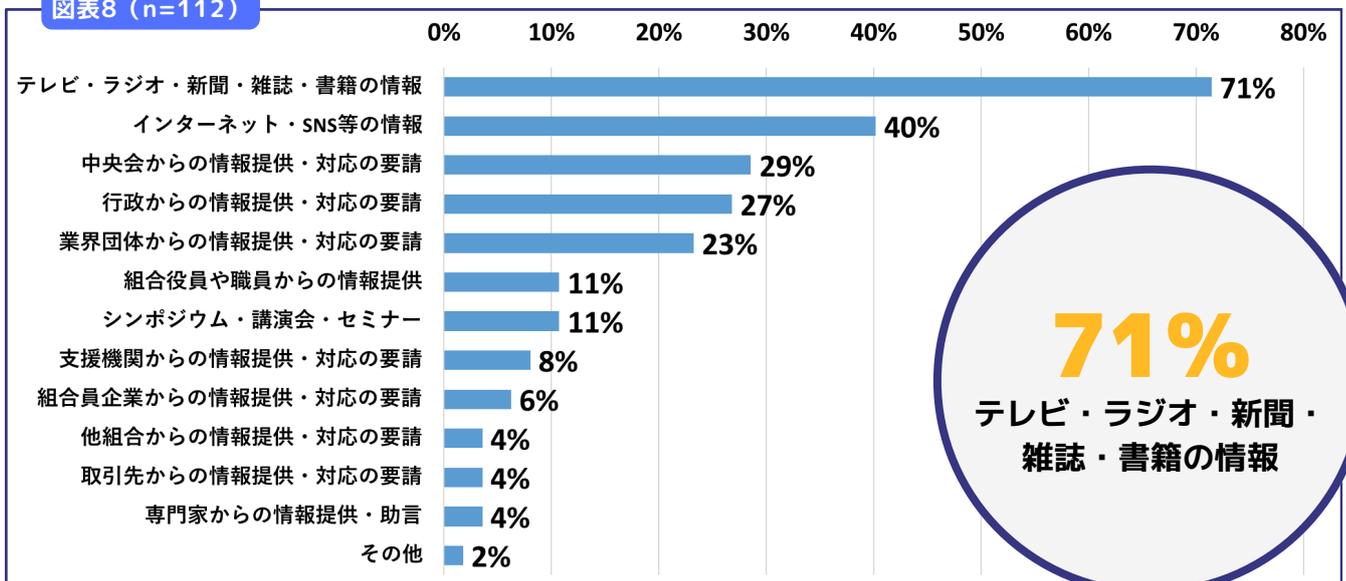
SDGsを知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍の情報」が圧倒的に多く、71%（小企業者組合で74%・中小企業組合で67%）がこの情報源を通じてSDGsを知ったと回答している。

次いで、「インターネット・SNS等の情報」が多く、40%（小企業者組合41%、中小企業組合39%）がインターネットやSNSを通じてSDGsを認知している。

なお、「中央会からの情報提供・対応の要請」については3番目に多く、小企業者組合で26%、中小企業組合で33%、合計29%が中央会からの情報提供を通じてSDGsを知っていることから、SDGsに関する組合への情報提供等において中央会の存在が重要であることも示唆されている（図表8）。

なお、「その他」では、具体的な内容として「関連する社団法人で水を濾過するため木片を利用する研究等を行っていた」や「青年会議所からの情報提供」などがあつた。

図表8（n=112）



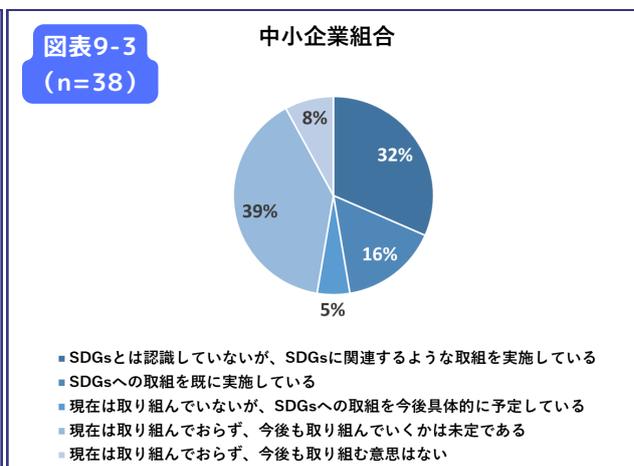
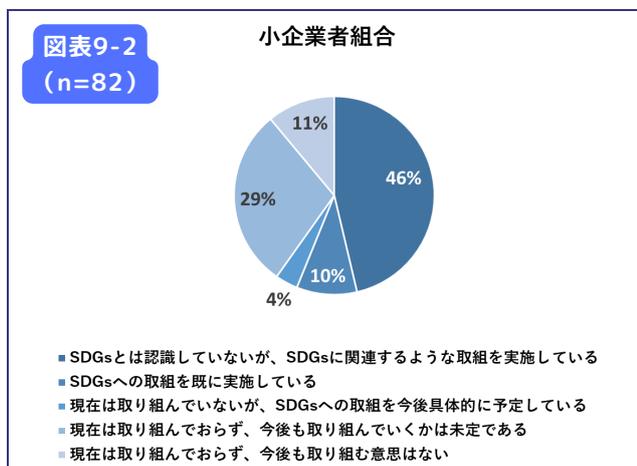
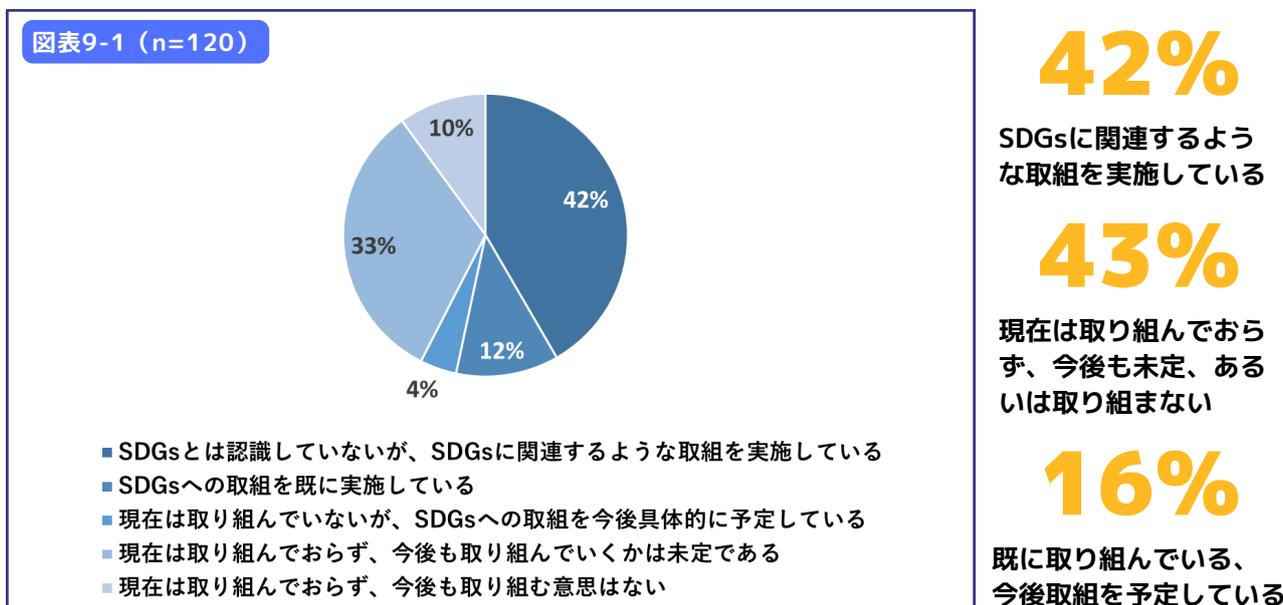
## 4. SDGsに関する組合としての取組や対応の状況

### ①全体及び規模別の取組状況

SDGsに関する組合としての取組や対応の状況については、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」が最も多く42%（小企業者組合46%、中小企業組合32%）となっている。

また、「SDGsへの取組を既に実施している」のは12%（小企業者組合10%・中小企業組合16%）となっている。

「現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している」のは4%（小企業者組合4%・中小企業組合5%）となっており、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である」（33%）や「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない」（10%）を大きく下回っていることから、SDGsの推進に向けて懸念される結果となっている（図表9-1～9-3）。



### ②業種別の取組状況

業種別のSDGsへの取組状況を見ると、製造業、建設業、その他業種で「SDGsへの取組を既に実施している」という回答がみられるものの、全体的な回答傾向と大きくは変わらない状況であり、概ねどの業種でも「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」が多くなっている。

また、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である」も、全体の傾向と同様に多くなっており、「現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している」を上回っていることから、SDGsの推進に向けて懸念される状況にあることは業種別にみても変わらない（図表9-4～9-5）。

図表9-4：SDGsの業種別取組状況（回答件数）

	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している	38	12	50	11	9	12	9	3	5	0	0	0	0	1
SDGsへの取組を既に実施している	8	6	14	6	3	0	0	1	1	0	3	0	0	0
現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している	3	2	5	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である	24	15	39	12	5	7	5	4	3	2	0	0	1	0
現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない	9	3	12	2	1	0	1	3	2	1	0	2	0	0
総計	82	38	120	33	20	20	15	11	11	3	3	2	1	1

図表9-5：SDGsの業種別取組状況（業種別の回答件数に対する割合）

	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している	46%	32%	42%	33%	45%	60%	60%	27%	45%	0%	0%	0%	0%	100%
SDGsへの取組を既に実施している	10%	16%	12%	18%	15%	0%	0%	9%	9%	0%	100%	0%	0%	0%
現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している	4%	5%	4%	6%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である	29%	39%	33%	36%	25%	35%	33%	36%	27%	67%	0%	0%	100%	0%
現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない	11%	8%	10%	6%	5%	0%	7%	27%	18%	33%	0%	100%	0%	0%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

## 5. SDGsの認知度と組合としての取組や対応の状況との関係

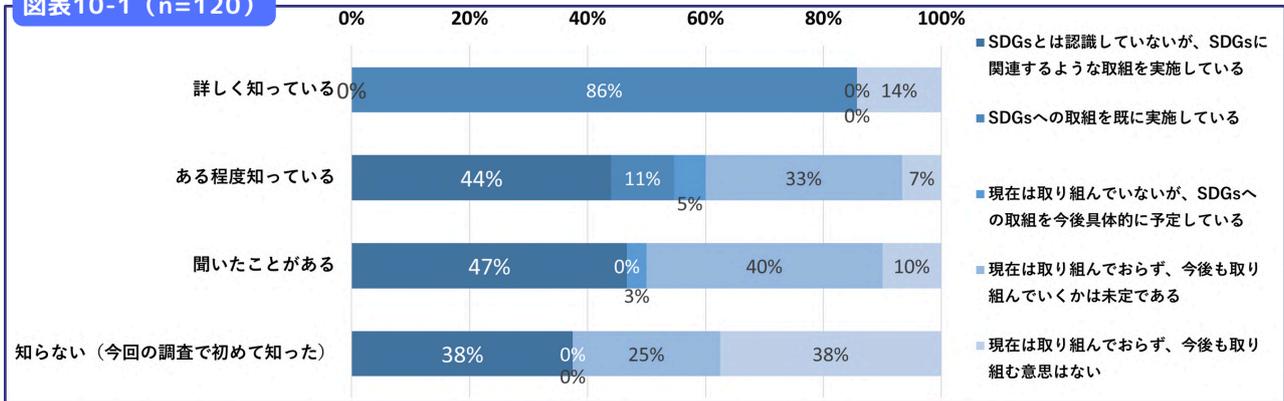
「SDGsの取組を既に実施している」組合では、SDGsについて「詳しく知っている」（5%）、「ある程度知っている」（7%）となっており、「聞いたことがある」や「知らない（今回の調査で初めて知った）」という組合はなかった。

また、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」と答えた組合では、「詳しく知っている」という組合はなかったが、「聞いたことがある」（12%）、「知らない（今回の調査で初めて知った）」（3%）という構成となっている。

「現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している」という組合は少数であるが、「ある程度知っている」（3%）や「聞いたことがある」（1%）組合となっている。

「現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である」や「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない」という組合でも、SDGsについては「ある程度知っている」や「聞いたことがある」という組合の比率が高くなっている（図表10-1～10-2）。

図表10-1 (n=120)



図表10-2：SDGsの認知度と取組・対応状況

	詳しく知っている	ある程度知っている	聞いたことがある	知らない (今回の調査で初めて知った)	総計
SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している	0	33 (28%)	14 (12%)	3 (3%)	50 (42%)
SDGsへの取組を既に実施している	6 (5%)	8 (7%)	0	0	14 (12%)
現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している	0	4 (3%)	1 (1%)	0	5 (4%)
現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である	0	25 (21%)	12 (10%)	2 (2%)	39 (33%)
現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない	1 (1%)	5 (4%)	3 (3%)	3 (3%)	12 (10%)
総計	7 (6%)	75 (63%)	30 (25%)	8 (6%)	120 (100%)

これらの結果から、SDGsへの取組の促進には、SDGsに対する知識の保有状況や認識の深さが重要な要素となっており、組合への知識や情報の提供、啓発活動の強化が必要と考えられる。

また、既存の取組をSDGsの枠組みと関連付けることにより、組合の潜在的な活動を顕在化し、取組の効果を最大化できる可能性がある。

### ① 認識の深さと行動の関連

SDGsについて深く理解している組織は、具体的な取組を実施している傾向が強く、情報提供と教育がいかに重要であるかが示されている。SDGsに対する理解の深化を図ることが、SDGsに関する意識の向上と行動の具体化につながる可能性があると考えられる。

### ② 無意識の貢献

SDGsについての知識が浅い、またはSDGsとの認識がない、あるいはSDGsの知識がない組合でも、SDGsに関連するような取組を行っているケースが見られる。これらの組織は、SDGsのフレームワークを認識することでより効果的に貢献できる可能性があるため、知識や情報の提供、啓発活動を実施することが有効と思われる。

次ページ以降では、以下の3つのグループに分けて、SDGsへの取組状況や課題、今後の取組意向等についてアンケート調査結果を分析する。

- 1
- 2
- 3

SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している組合

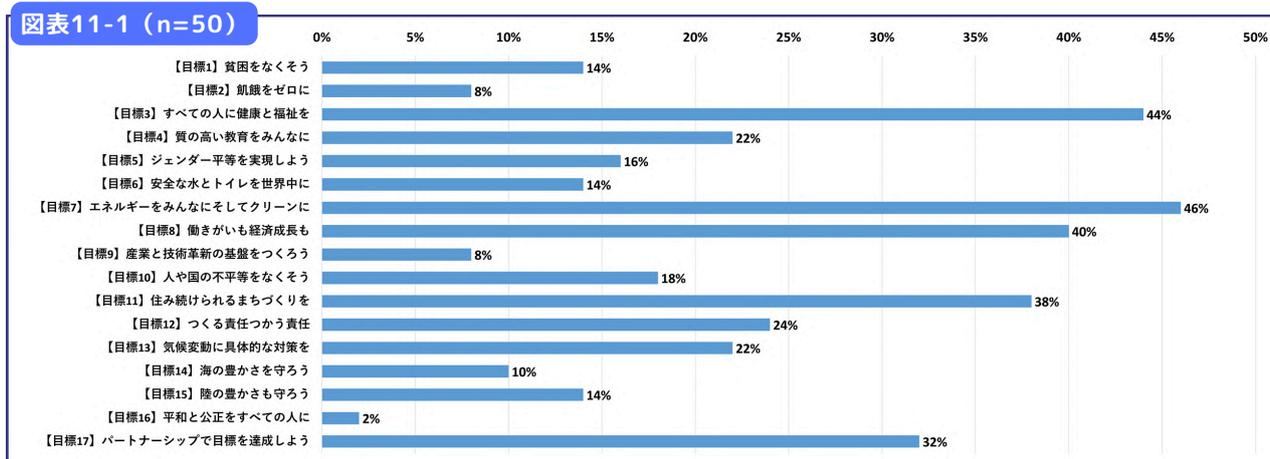
SDGsへの取組を「既に実施している」「今後具体的に予定している」組合

SDGsに「取り組む意思が無い」または「未定」の組合

## 6. SDGsの17の目標（ゴール）との関連性

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合に対して、「現在の取組をSDGsにあてはめるとした場合、SDGsの17の目標（ゴール）のうち、どのゴールに関連する取組と考えられるか」について質問（複数回答）し、その具体的な内容についても回答いただいた。

### ①SDGsの17の目標（ゴール）との関連性



最も多く該当するのは「【目標7】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」で、46%（小企業者組合47%・中小企業組合42%）であった。SDGsということを特に意識していないものの、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの利用など、エネルギー関連の取組が注目されていることがわかる。

「【目標11】 住み続けられるまちづくりを」では、38%（小企業者組合42%・中小企業組合25%）となっている。地域に密着している事業活動を行うなかで地域社会に貢献していこうとする姿勢が見受けられる（図表11-1）。

SDGsとは認識していなくても、SDGsの枠組みと関連づけることのできる取組も多く、今後、こうした取組をSDGsの枠組みと結びつけ、SDGsの活動として顕在化させることの可能性を感じさせる結果となった。

### ②具体的な取組内容

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組」の具体的な取組内容については、以下のような回答があった（回答内容は見やすくするため一部編集。また、表中における【目標】は該当すると思われるものを別途追記）。

#### 【製造業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	健康診断の実施・健康的な職場環境の提供	【目標3】
2	地元学校や市町村が催しをする際に寄付	【目標4、11】
3	災害対策の一環で水等の備蓄の実施	【目標6】
4	太陽光発電システムの設置	【目標7、13】
5	LED照明に交換	【目標7、13】
6	乾燥機ボイラーを重油利用から天然ガスへ移行	【目標7、13】
7	外国人材の積極的な雇用や雇用の支援	【目標8、10】
8	余ったコンクリートをブロックしたり無駄を無くすようにしている	【目標12】

## 【製造業（つづき）】

No.	内容	目標（ゴール）
9	廃棄物だった葛根を活用した葛和紙繊維による商品展開	【目標12】
10	リサイクル素材を使った製品作り	【目標12】

## 【建設業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	健康診断の実施	【目標3】
2	日赤に寄付	【目標3、11】
3	災害時の非常用水の備蓄	【目標6】
4	LED照明に交換	【目標7、13】
5	外国人材の雇用・教育	【目標8、10】
6	研修会・講習会の開催	【目標8】
7	能登半島地震の復旧応援や寄付	【目標11】
8	組合員の緊急連絡網の作成	【目標11】
9	県水と防災協定	【目標11】

## 【複合業種】

No.	内容	目標（ゴール）
1	健康診断の実施	【目標3】
2	理事の在籍する会社での給与体系は男女平等である	【目標5】
3	災害時の非常用水の備蓄	【目標6】
4	LED照明に交換（街路灯、アーケード）	【目標7、13】
5	ペーパーレス化	【目標8、12、13、15】
6	テナント店が増加傾向にあるが、地元住民との交流を増やしていこうとしている	【目標11】
7	行政とタイアップして、地域住民のより良い生活のための施策を企画・実施	【目標11】
8	道路等の清掃による美化活動（地域清掃活動への参画）	【目標11】
9	市や自治体等との連携	【目標11、17】
10	大学との連携（ショップが商店街店舗として出店、ボランティア活動）	【目標11、17】
11	オンライン決済等による紙の削減	【目標12、13、15】

## 【サービス業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	フードレスキュー事業への寄付	【目標2】
2	震災被災地への寄付（日赤）	【目標3、11】
3	技能実習生や特定技能の就労先紹介と支援	【目標8、10】
4	災害協定	【目標11】
5	ろうそくの再利用	【目標12、13】

## 【小売業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	健康診断の実施	【目標3】
2	県を通じて養護学校6校にスポーツ用品の寄付を行っている	【目標4、10】
3	非常用水の備蓄	【目標6】
4	発電機の寄付	【目標7、11】
5	蛍光灯をLEDに交換	【目標7、13】
6	組合員緊急連絡網の整備	【目標11】
7	ガソリンスタンドの経営継続	【目標11】
8	防災協定	【目標11】
9	防災危機訓練の実施	【目標11】
10	廃棄自転車のリサイクル事業	【目標12】
11	ポリ袋を減らす	【目標12、13、14、15】

## 【卸売業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	安心安全な食糧品の安定的供給	【目標2】
2	こども食堂への食品提供	【目標2】
3	地場野菜・オーガニック野菜の促進	【目標3】
4	残業を無くすように努力している	【目標8】
5	外国人技能実習生受入事業の実施	【目標8、10】
6	生産者との連携強化	【目標12、17】
7	業界全体でクールビズに取り組んでいる	【目標13】

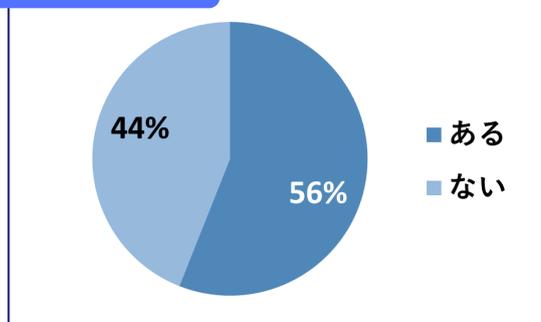
## 7. 現在のSDGsに関連するような取組を、今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合に対して、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような現在の取組を今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向」について質問した。また、どんな取組を実施しているのか、具体的に回答いただいた。

「SDGsに関連するような取組を今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向」が「ある」と回答した組合は56%（小企業者組合55%・中小企業組合58%）となっている。

意向が「ない」と回答した組合は44%（小企業者組合45%・中小企業組合42%）となっている（図表12-1）。

図表12-1 (n=50)



なお、業種別にみると、製造業では11組合中「ある」が36%、「ない」が64%、建設業では9組合中「ある」が78%、「ない」が22%であり、今後SDGsの取組と位置付ける意向がほぼ逆転している。複合業種では12組合中「ある」が50%、「ない」も50%、小売業は9組合中「ある」が56%、「ない」が44%で拮抗している結果となった。

図表12-2：今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向（回答件数）

	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
ある	21	7	28	4	7	6	5	2	3	0	0	0	0	1
ない	17	5	22	7	2	6	4	1	2	0	0	0	0	0
総計	38	12	50	11	9	12	9	3	5	0	0	0	0	1

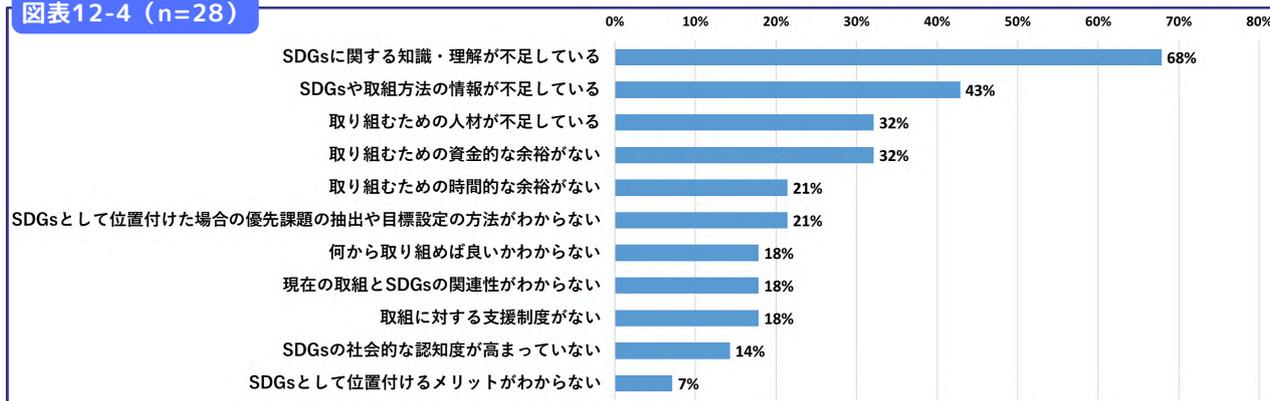
図表12-3：今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向（業種別の回答件数に対する割合）

	小企業者組合	中小企業組合	総計	製造業	建設業	複合業種	小売業	サービス業	卸売業	運輸業	その他業種	農業	金融・保険	鉱業
ある	55%	58%	56%	36%	78%	50%	56%	67%	60%	0%	0%	0%	0%	100%
ない	45%	42%	44%	64%	22%	50%	44%	33%	40%	0%	0%	0%	0%	0%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	100%

### ① 今後SDGsの取組と位置付けて実施していく上での課題

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合で、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような現在の取組を今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向」が「ある」と回答した組合に対して、「今後SDGsの取組として位置付けて実施していくうえで課題と考えられること」について質問した。

図表12-4 (n=28)



最も多いのは、「SDGsに関する知識・理解が不足している」と回答した組合で68%（小企業者組合71%・中小企業組合57%）となっている。また、「SDGsや取組方法の情報が不足している」が43%（小企業者組合52%・中小企業組合14%）で、2番目に多い回答となっている。

続いて、「取り組むための人材が不足している」及び「取り組むための資金的な余裕がない」がともに32%（小企業者組合29%・中小企業組合49%）となった。

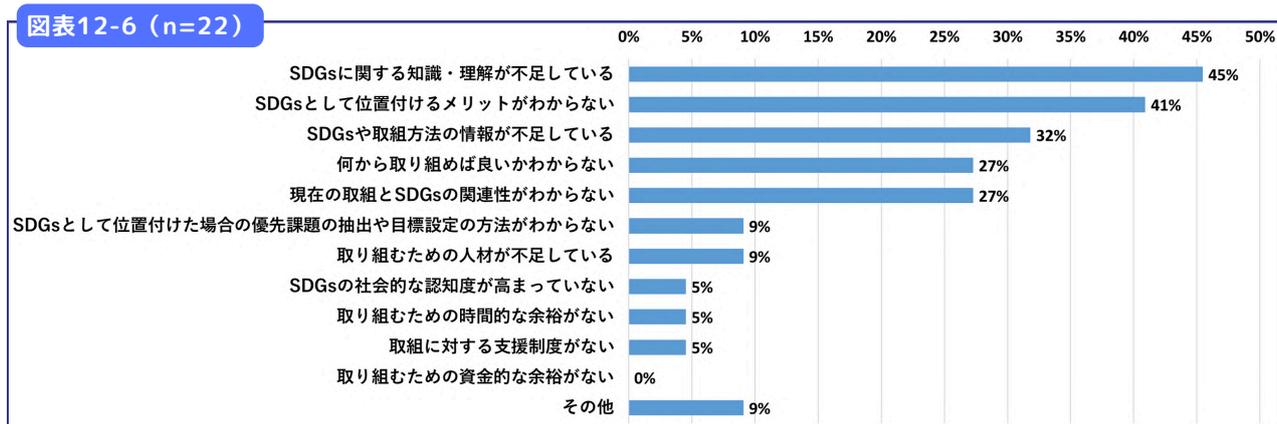
「取り組むための時間的な余裕がない」と回答した組合は21%（小企業者組合14%・中小企業組合43%）、「SDGsとして位置付けた場合の優先課題の抽出や目標設定の方法がわからない」と回答した組合も21%（小企業者組合で19%・中小企業組合29%）でともに4番目に多い回答となっている（図表12-4～12-5）。

図表12-5	小企業者組合		中小企業組合		総計	
	件数	%	件数	%	件数	%
SDGsに関する知識・理解が不足している	15	71%	4	57%	19	68%
SDGsや取組方法の情報が不足している	11	52%	1	14%	12	43%
取り組むための人材が不足している	6	29%	3	43%	9	32%
取り組むための資金的な余裕がない	6	29%	3	43%	9	32%
取り組むための時間的な余裕がない	3	14%	3	43%	6	21%
SDGsとして位置付けた場合の優先課題の抽出や目標設定の方法がわからない	4	19%	2	29%	6	21%
何から取り組めば良いかわからない	4	19%	1	14%	5	18%
現在の取組とSDGsの関連性がわからない	4	19%	1	14%	5	18%
取組に対する支援制度がない	4	19%	1	14%	5	18%
SDGsの社会的な認知度が高まっていない	1	5%	3	43%	4	14%
SDGsとして位置付けるメリットがわからない	2	10%	0	0%	2	7%
総回答件数	21	100%	7	100%	28	100%

これらの結果からは、「SDGsとは認識していないもののSDGsに関連するような取組を行っている組合」にとって、今後その取組をSDGsの取組として位置付けて実施していく上での課題として、SDGsや取組方法、支援制度等に関する「知識や情報不足の壁」、人材・資金・時間がないという「リソースの壁」、SDGsの目標をどのように具体的な方針や行動計画に組み込めば良いのかわからない「目標設定と計画策定の壁」の克服が必要であることが示唆される。

## ②今後SDGsの取組として位置付ける必要はないと考える理由

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合で、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような現在の取組を今後SDGsの取組と位置付けて実施していく意向」は「ない」と回答した組合に対して、その理由を質問（複数回答）した。



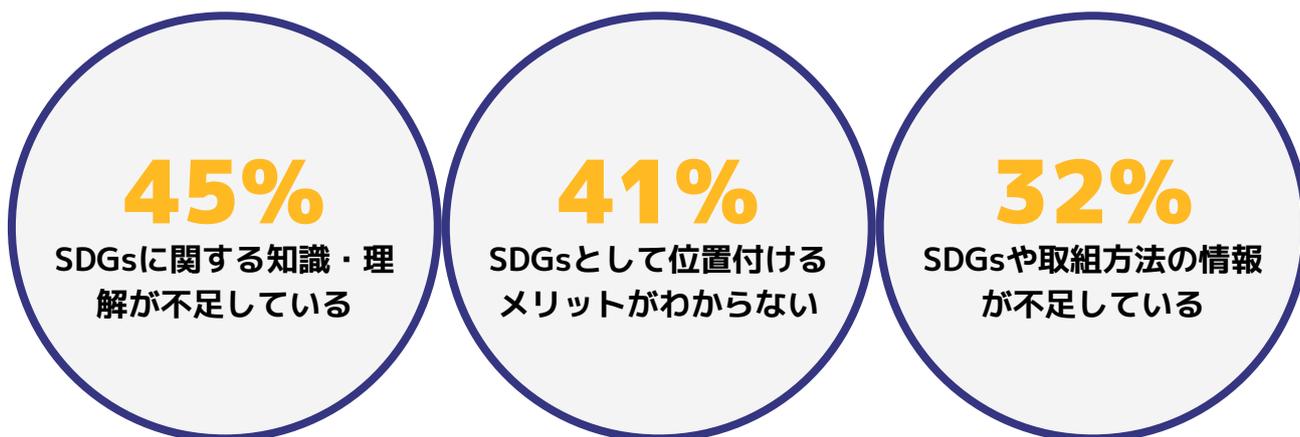
SDGsの取組として位置付ける意向がない理由として、「SDGsに関する知識・理解が不足している」が最も多く45%（小企業者組合59%・中小企業組合0%）となっている。

また、「SDGsとして位置付けるメリットがわからない」が41%（小企業者組合41%・中小企業組合40%）となっている。

さらに、「SDGsや取組方法の情報が不足している」（32%）や「何から取り組めば良いかわからない」（27%）、「現在の取組とSDGsの関連性がわからない」（27%）が続く結果となった（図表12-6）。

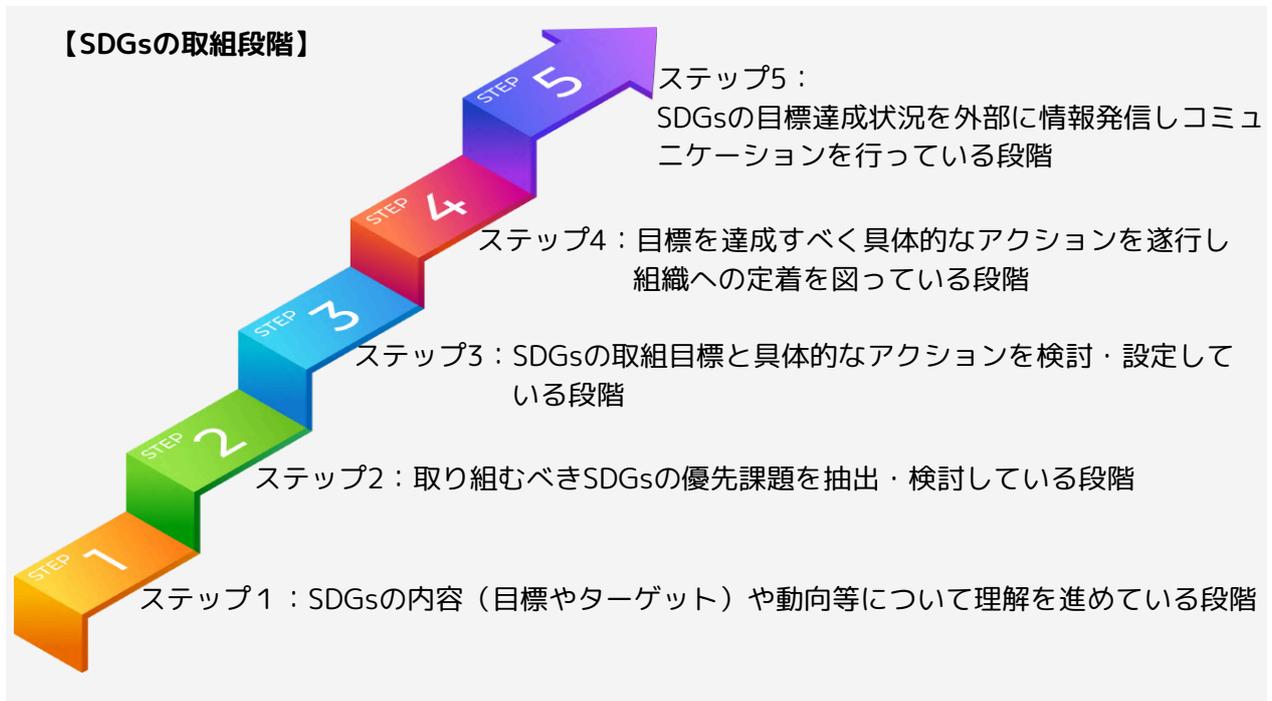
知識や理解、取組方法に関する情報の不足など、ここでもSDGsに関する「知識や情報不足の壁」の存在が大きいことがわかる。

なお、「SDGsとして位置付けるメリットがわからない」という回答については、SDGsへの知識や理解の不足ということだけではなく、SDGsに対する批判的な姿勢やSDGs推進における即効性への疑義などがあるのではないかと推察する。こうした回答に対しては、SDGs推進の先進事例・成功事例等を提供すること、PR効果や従業員のモチベーション向上などSDGs推進による短期的な効果創出の可能性を認識してもらうことに加えて、一方では、SDGs推進の本質が持続可能な社会の実現に向けた未来志向かつ長期的な視点にあることについての理解を促進していくことが求められる。



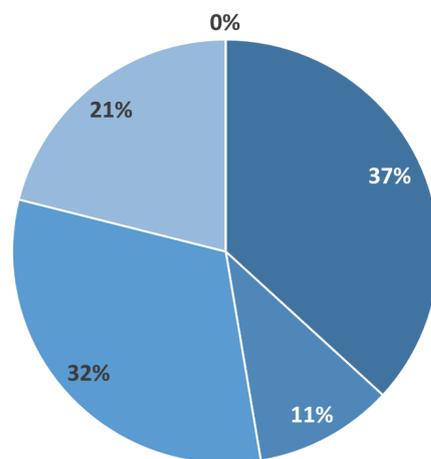
## 8. SDGsの取組段階

SDGsへの取組を「既に実施している」及び「今後具体的に予定している」組合に対して、現在のSDGsの取組段階について、以下のステップをもとに質問した。



現在のSDGsの取組段階では、ステップ1が37%と最も多く、ステップ2は11%、ステップ3が32%、ステップ4が21%、ステップ5は回答なしとなっている（図表13）。

図表13 (n=19)



- ステップ1：SDGsの内容（目標やターゲット）や動向等について理解を進めている段階
- ステップ2：取り組むべきSDGsの優先課題を抽出・検討している段階
- ステップ3：SDGsの取組目標と具体的なアクションを検討・設定している段階
- ステップ4：目標を達成すべく具体的なアクションを遂行し組織への定着を図っている段階
- ステップ5：SDGsの目標達成状況を外部に情報発信しコミュニケーションを行っている段階

**37%**

ステップ1

**32%**

ステップ3

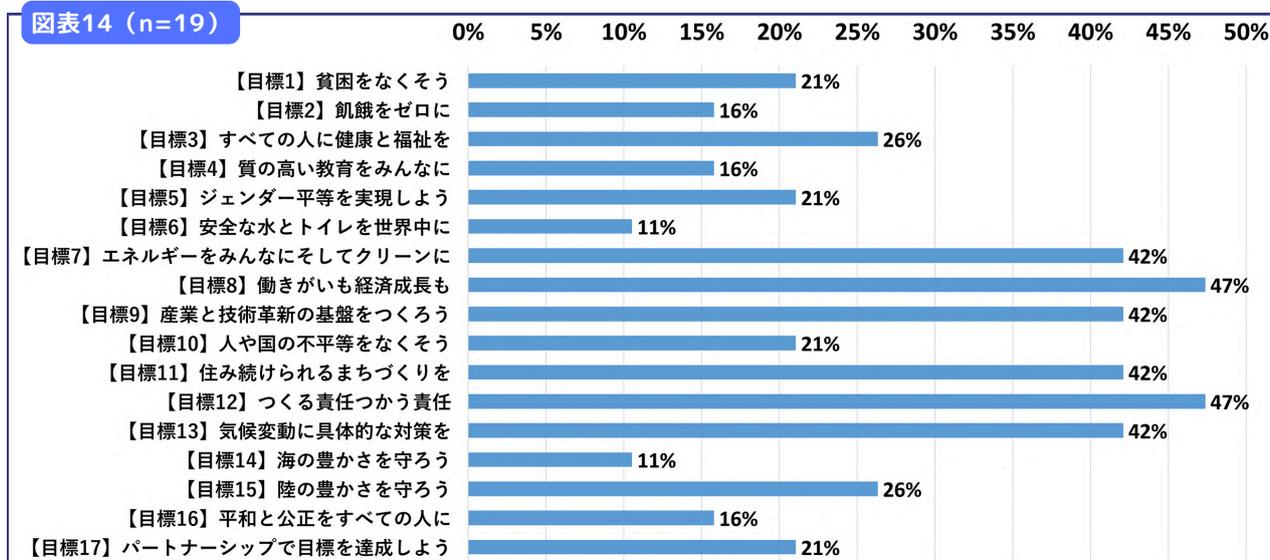
**21%**

ステップ4

## 9. SDGsの17の目標（ゴール）のうち、現在、組合として取り組んでいる（取り組もうとしている）目標（ゴール）

### ①現在、組合として取り組んでいる（取り組もうとしている）目標（ゴール）

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、SDGsの17の目標（ゴール）のうち、現在、組合として取り組んでいる（取り組もうとしている）目標（ゴール）について質問（複数回答）した。



目標8「働きがいも経済成長も」及び目標12「つくる責任つかう責任」が最も多く、47%となっている。次いで、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標13「気候変動に具体的な対策を」が42%となっている。さらに、目標3「すべての人に健康を福祉を」、目標15「陸の豊かさを守ろう」が26%と続いている（図表14）。

### ②SDGsの目標（ゴール）に向けた具体的な取組内容、アピールしたい取組内容等

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、具体的な取組内容や、アピールしたい取組内容について質問したところ、以下のような回答があった。

#### 【製造業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	教育機関向けへの紙の端材提供	【目標4、12、15】
2	検討段階ではあるが、繊維端材の再利用による循環型繊維素材の取組	【目標7、9、12】
3	オーガニックコットンを素材にした製品を開発することにより、埋蔵資源の消費を減らし、CO2の排出量を削減する。	【目標7、12】
4	プラスチック循環利用促進法に基づく3Rの推進及び環境に配慮した製品の仕様と製品開発を進めている。	【目標7、12、14】
5	建築物の木造、木質化の推進、合法伐採木材の流通、利用の促進、木質バイオマス発電への協力	【目標7、12、15】
6	メディアユニバーサルデザインの普及促進	【目標4、10、11】

## 【建設業】

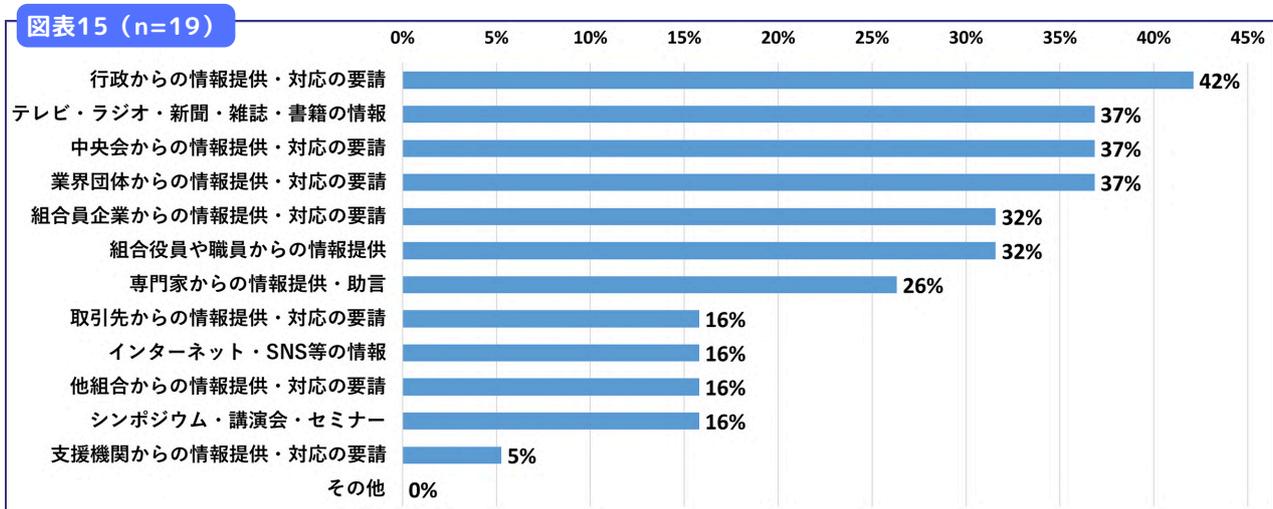
No.	内容	目標（ゴール）
1	震災等社会的困窮地域への寄付	【目標3、11】
2	教育機関への寄付	【目標4、11】
3	地域清掃活動への参画	【目標11】

## 【サービス業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	上部団体が実施するSDGs宣言書に基づき、教育体制の構築、サーキュラーエコノミーを実践。法令を遵守した環境、労働者に優しい事業、あらゆる場面に対応した整備体制の構築を目指す。	【目標3、4、6、8、10、11、12、13、17】

## 10. SDGsに取り組んだ（今後取り組む）きっかけ

SDGsへの取組を「既の実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、組合としてSDGsに取り組んだ（今後取り組む）きっかけについて質問（複数回答）した。



「行政からの情報提供・対応の要請」が42%と最も多くなっている。次に、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍の情報」、「中央会からの情報提供・対応の要請」、「業界団体からの情報提供・対応の要請」が37%と続いている。

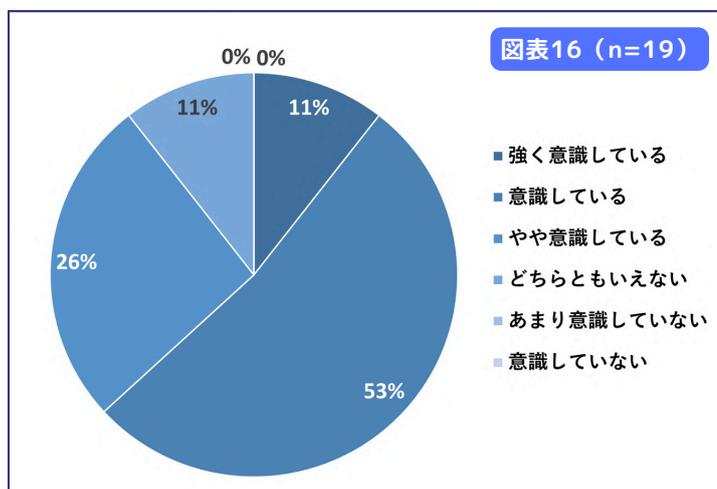
さらに、「組合員企業からの情報提供・対応の要請」と「組合役員からの情報提供・対応の要請」がともに32%と、組合内部からの情報提供や対応の要請が3番目に多い結果となっている（図表15）。

## 11. 組合の事業・業務を遂行するうえでSDGsの17の目標（ゴール）をどの程度意識しているか

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、組合の事業・業務を遂行するうえで、SDGsの17の目標（ゴール）をどの程度意識しているかについて質問した。

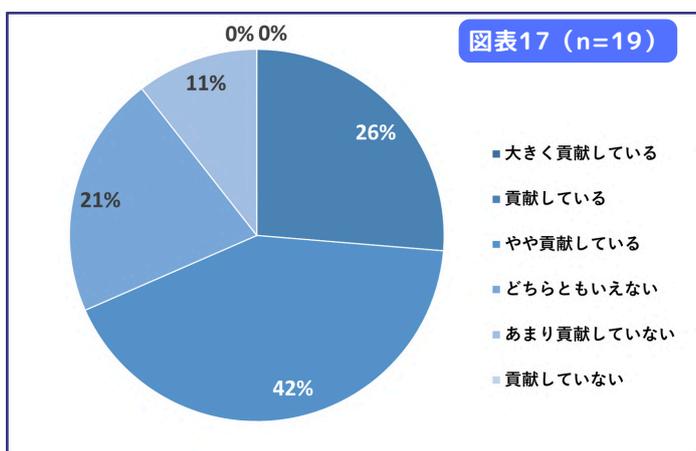
「強く意識している」が11%、「意識している」が53%、「やや意識している」が26%となっており、これらの合計は90%に及ぶ。一方で、「どちらともいえない」が11%あるものの、「あまり意識していない」や「意識していない」と回答した組合はなかった（図表16）。

SDGsへの取組を「既に実施している」、「今後具体的に予定している」組合では、そのほとんどが、組合の事業・業務の遂行において、SDGsの目標（ゴール）を意識して取り組んでいることがわかる。



## 12. 組合の事業・業務は、SDGsの17の目標（ゴール）にどの程度貢献しているか

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、組合の事業・業務は、SDGsの17の目標（ゴール）にどの程度貢献しているかについて質問した。



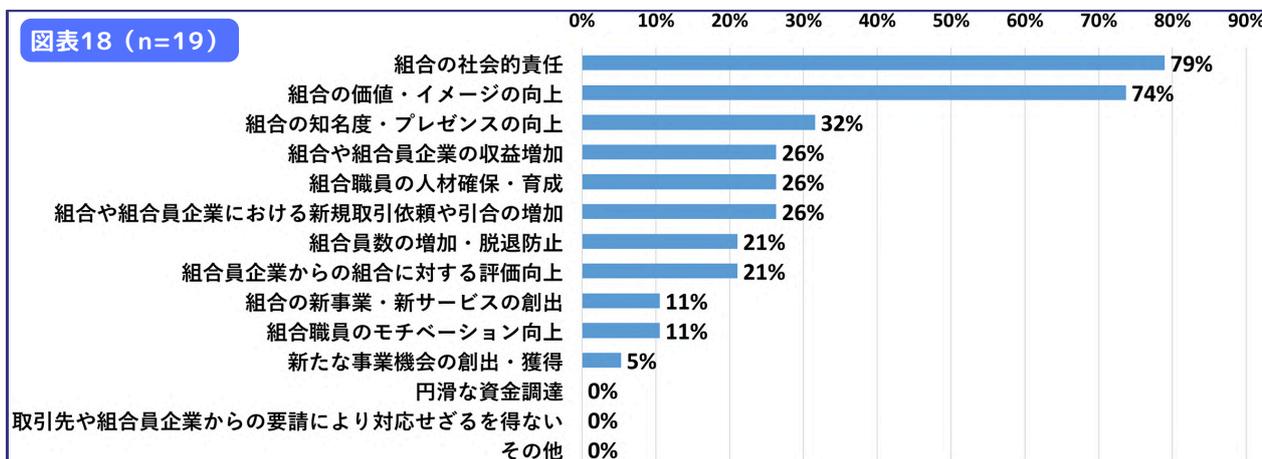
「やや貢献している」が42%と最も多く、次いで「貢献している」が26%となっており、貢献していると考えている組合が7割近くに上ることがわかる。

続いて、「どちらともいえない」が21%、「あまり貢献していない」が11%となっている。

一方で、「大きく貢献している」あるいは「貢献していない」という回答はなかった（図表17）。

## 13. SDGsに取り組んだ効果（期待できる効果）

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、SDGsに取り組んだ効果（「今後予定している」場合は期待できる効果）について質問（複数回答）した。

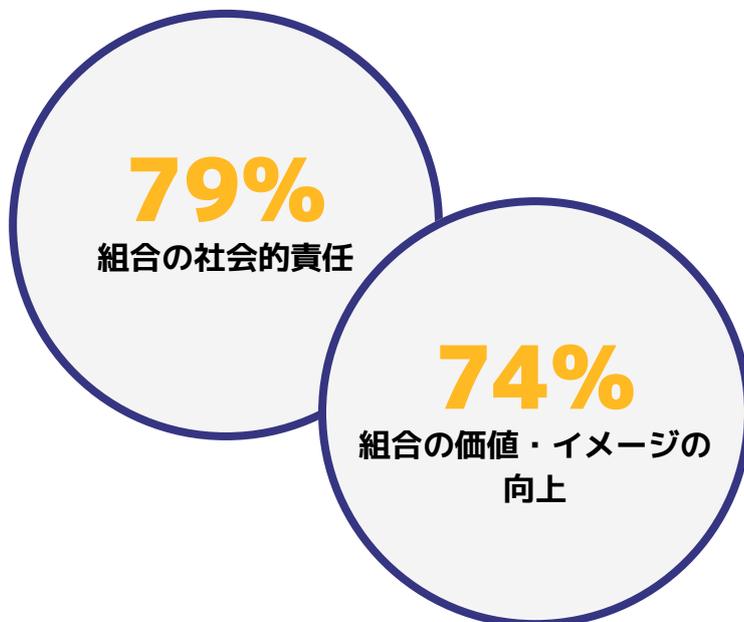


SDGsに取り組んだ効果（期待できる効果）について、「組合の社会的責任」が79%で最も多くとなっている。

次いで、「組合の価値・イメージの向上」が74%と続いている。

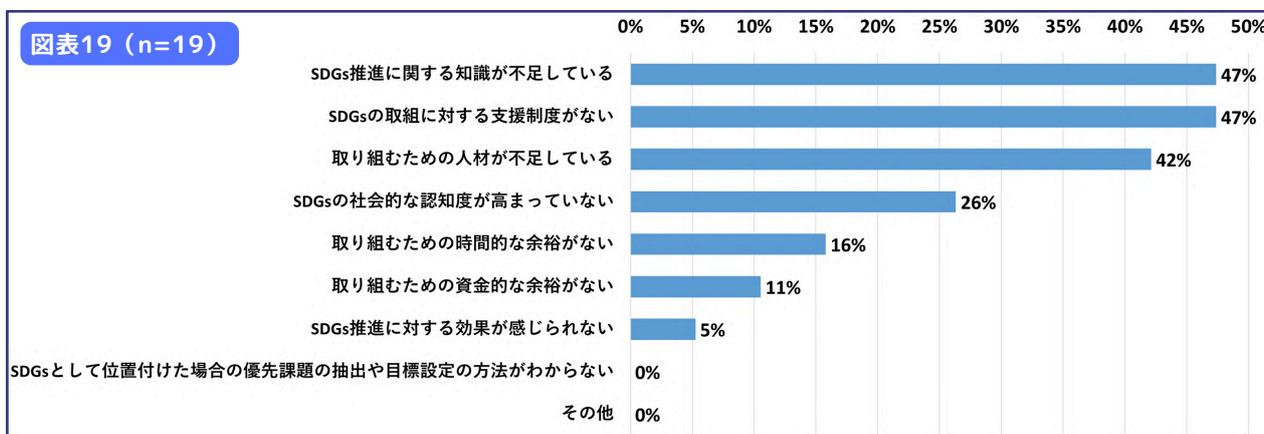
さらに、「組合の知名度・プレゼンスの向上」が32%、「組合や組合員企業の収益増加」、「組合職員の人材確保・育成」、「組合や組合員企業における新規取引依頼や引合の増加」が26%となっている。

一方で、「円滑な資金調達」、「取引先や組合員企業からの要請により対応せざるを得ない」という回答はなかった（図表18）。



## 14. 今後SDGsの取組を実施していくうえでの課題

SDGsへの取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合に対して、今後SDGsの取組を実施していくうえで課題と考えられることについて質問（複数回答）した。



「SDGs推進に関する知識が不足している」ならびに「SDGsの取組に対する支援制度がない」がともに47%と最も多くなっている。次いで、「取り組むための人材が不足している」が42%、「SDGsの社会的な認知度が高まっていない」が26%と続く。

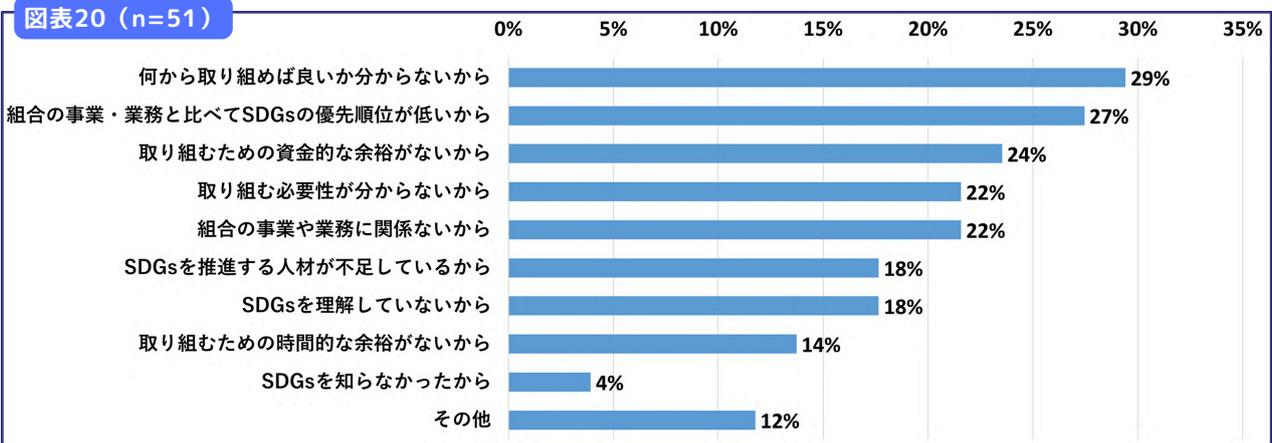
「取り組むための時間的な余裕がない」は16%、「取り組むための資金的な余裕がない」は11%となっており、**人材・資金・時間がないという「リソースの壁」においては、時間や資金よりも人材が課題の中心となっているようである。**

なお、回答したのはひとつの組合だけであるが、「SDGs推進に対する効果が感じられない」という回答も見られた（図表19）。



## 15. SDGsに取り組んでいない、または取り組まない理由

SDGsに「取り組む意思が無い」または「未定」組合に対して、SDGsに取り組んでいない、または取り組まない理由について質問（複数回答）した。



SDGsに取り組んでいない、または取り組まない理由としては、「何から取り組めば良いか分からないから」（29%）、「組合の事業・業務と比べてSDGsの優先順位が低いから」（27%）といった回答が多く見られた。

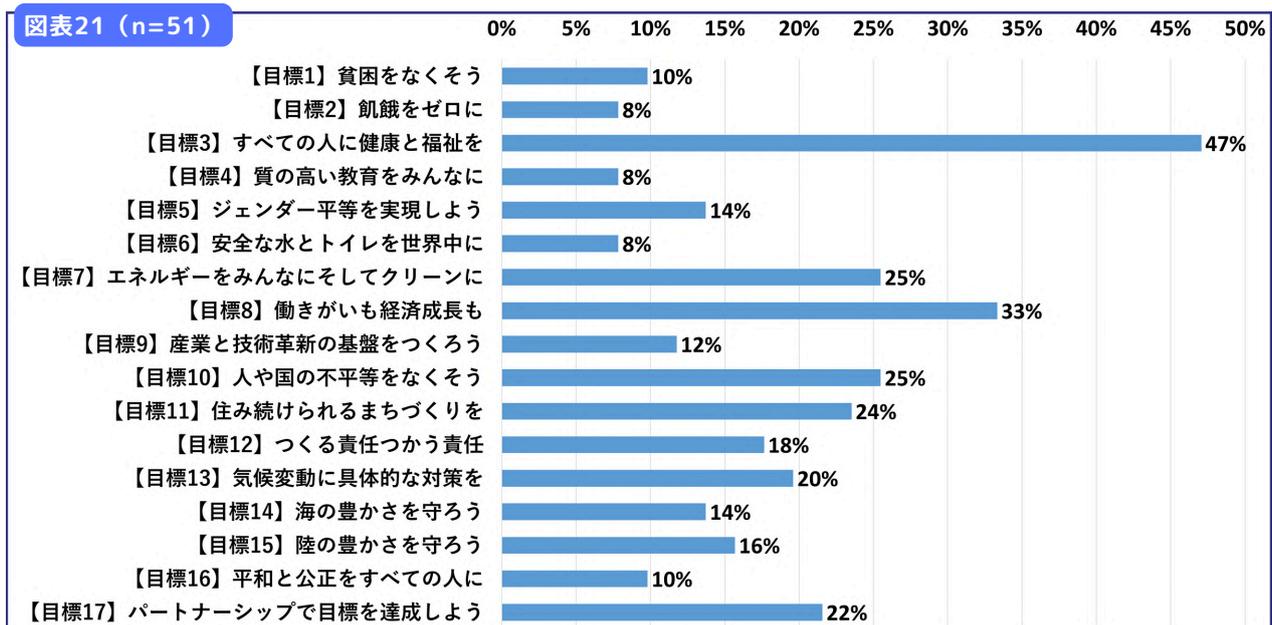
また、「取り組むための資金的な余裕がないから」（24%）や「SDGsを推進する人材が不足しているから」（18%）、「取り組むための時間的な余裕がないから」（14%）などのリソースの問題も取り組まない理由として挙げられている。

さらに、「取り組む必要性がわからないから」（22%）や「組合の事業や業務に関係ないから」（22%）など、**業務上の必要性や業務との関連性の低さを理由とする回答も見られる**（図表20）。

## 16. SDGsに取り組んでいない、または取り組まない理由

### ①未来に向けて取り組めそうなSDGsの目標（ゴール）

SDGsに「取り組む意思が無い」または「未定」組合に対して、未来に向けて、SDGsの17の目標（ゴール）のうち、組合として取り組めそうだと考える目標（ゴール）について質問（複数回答）した。



目標3「すべての人に健康と福祉を」が最も多く、47%となっている。続いて、目標8「働きがいも経済成長も」（33%）、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」（25%）、目標10「人や国の不平等をなくそう」（25%）、目標11「住み続けられるまちづくりを」（24%）となっている。

回答はすべてのSDGsの目標（ゴール）に分散しており、概ね満遍なくSDGsの目標（ゴール）に取り組めそうだと考えているようにも見受けられるが、なかでも、**健康・福祉、働きがい、人や国の不平等をなくそうなど、人に関連する目標に関心が向いているように見受けられる**（図表21）。

## ②具体的なSDGsの取組アイデアや取組施策

SDGsに「取り組む意思が無い」または「未定」組合に対して、未来に向けて、SDGsの17の目標（ゴール）のうち、組合として取り組めそうだと考えられる具体的なSDGsの取組アイデアや取組施策について質もしたところ、以下のような回答があった。（回答内容は見やすくするため一部編集。また、表中における【目標】は該当すると思われるものを別途追記。）

### 【製造業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	給食の食べ残しの処理方法（食品ロスの削減）	【目標2】
2	外灯のタイマーを日照時間に合わせて設定	【目標7、12】
3	容器のリサイクル推進の提唱	【目標12、14】
4	コピーの際は裏紙を利用する	【目標12、15】
その他意見	取組例を見るとすでに実施していることが多くあると気付いた。一般的にSDGsと言われると直接関係ないと思うし、また【目標15】のように当組合は木材製造業なので産業自体が【目標15】に適合していると思う。今回のようにより具体的に取組事例をかいてもらってありがたい。	

### 【建設業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	事業所の節水対策の推進、非常時の非常用水の備蓄	【目標6】

### 【複合業種】

No.	内容	目標（ゴール）
1	駅前周辺の賑わい創出	【目標11、17】
その他意見	【目標10】においては当組合の業務としてすでにかかわっていたことについて認識できた。今後については【目標7】の省エネ効果の高い設備への更新や【目標13】のエコスタイルを実施することにより節電効果が得られ、少しでも環境への影響を軽減する取り組みができると思う。	

### 【小売業】

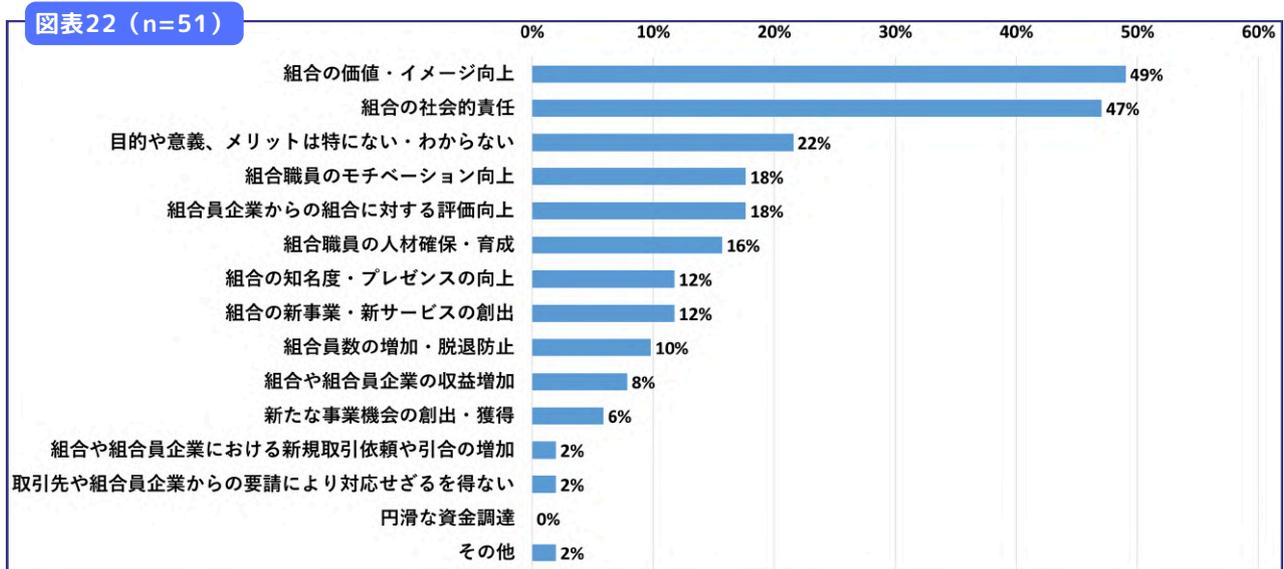
No.	内容	目標（ゴール）
1	世界共通の言葉を作りましょう	【目標4、10】

### 【サービス業】

No.	内容	目標（ゴール）
1	会員企業の扱うローソクの短くなったものを福祉施設に寄付し新しいローソクとして販売する支援（ただしこれは各社で取り組むものなので組合として取り組むことはないと思われる）	【目標12】

## 17. SDGsに取り組んだ場合の目的や意義・メリット

SDGsに「取り組む意思が無い」または「未定」の組合に対して、SDGsの目標（ゴール）に向けて取組を行った場合、どのような目的や意義、メリットがあると思うかについて質問（複数回答）した。



「組合の価値・イメージ向上」が49%と最も多く、次いで「組合の社会的責任」が47%（24件）と続いている。

次に、「組合職員のモチベーション向上」や「組合員企業からの組合に対する評価向上」がともに18%となっている。また、「組合の知名度・プレゼンスの向上」や「組合の新事業・新サービスの創出」がともに12%となっている。

SDGsに取り組むことが社会的責任を果たすことにつながり、ひいては組合の価値・イメージ、知名度やプレゼンスの向上につながる可能性への期待感が表れているように見受けられる。

一方で、「目的や意義、メリットは特にない・わからない」という回答も22%と3番目に多い回答となっており、SDGsに関する「知識や情報不足の壁」があるものと推察される（図表22）。

49%

組合の価値・  
イメージ向上

47%

組合の社会的責任



# III.期待する支援策と中央会 に期待すること

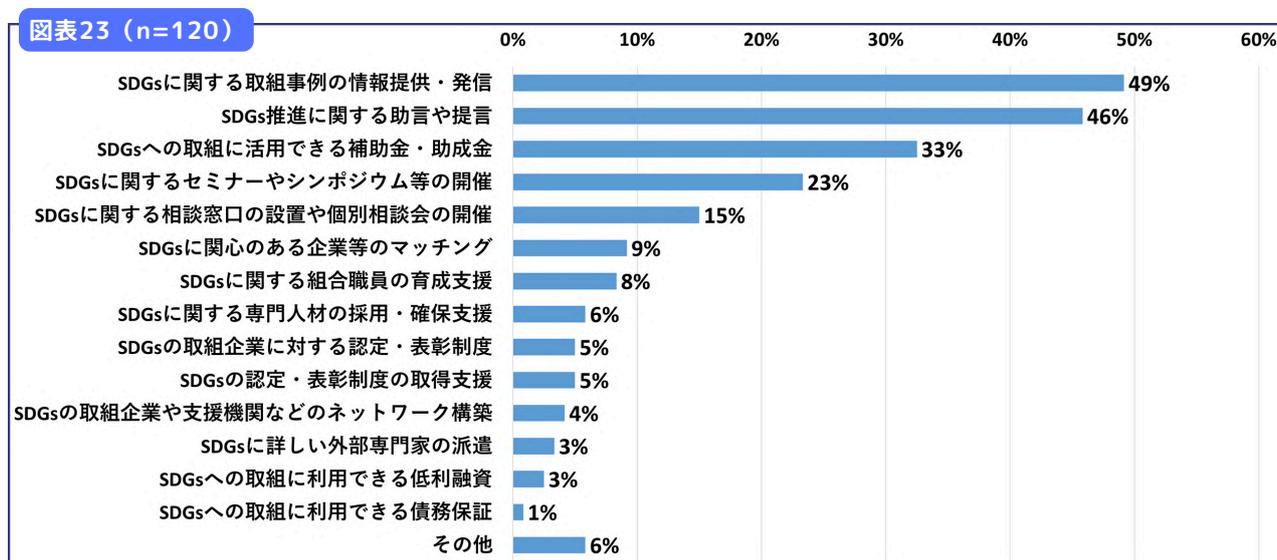
---

### III. 期待する支援策と中央会に期待すること

#### 1. SDGsの推進に向けて期待する支援策と中央会に期待すること

SDGsの取組を進めるうえで中央会に期待することや期待する支援策については、「SDGsに関する取組事例の情報提供・発信」（49%）、「SDGs推進に関する助言や提言」（46%）への期待が大きい。次いで、「SDGsへの取組に活用できる補助金・助成金」（33%）、「SDGsに関するセミナーやシンポジウムなどの開催」（23%）、「SDGsに関する相談窓口の設置や個別相談会の開催」（15%）が続く結果となっている。

「SDGsへの取組に活用できる補助金・助成金」以外は、個別相談や助言、セミナー開催、取組事例の発信などに関する回答が多く、知識や情報提供に関する要望が強いことがわかる（図表23）。



# IV.SDGs企業認証制度への 期待

---

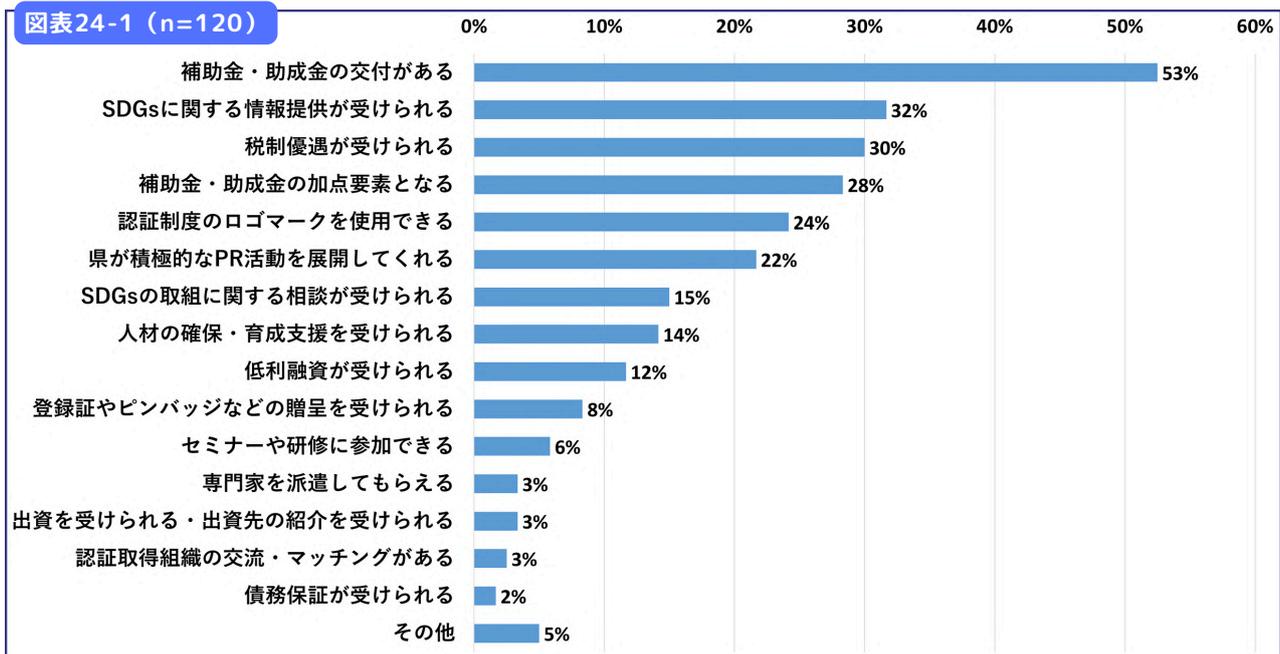
## IV. SDGs企業認証制度への期待

奈良県では、準備を進めている奈良県版「SDGs企業認証制度構築事業」により、SDGsに取り組んでいる組織や企業等の認証（以下、SDGs認証制度）を行う予定となっており、このSDGs認証制度について以下の質問を行った。

### 1. SDGs認証制度にどのようなメリットを求めるか

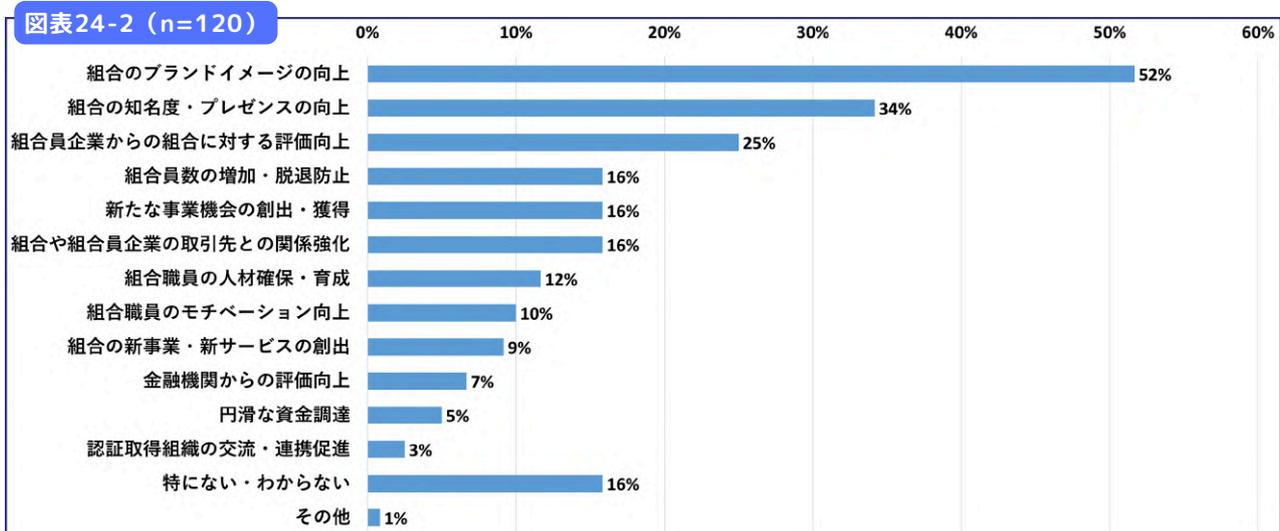
SDGs認証制度について、どのようなメリットがあれば取得したいと考えるかについて質問（複数回答）したところ、最も多かったのは「補助金・助成金の交付」が53%と最も多い結果となった。補助金等に関しては、「補助金・助成金の加算要素となる」も28%と4番目に多くなっており、3番目に多い「税制優遇が受けられる」（30%）と併せて、**資金的な援助・メリットを求める声大きい。**

2番目に多い回答は「SDGsに関する情報提供が受けられる」（32%）となっている。また、「認証制度のロゴマークを使用できる」（25%）、「県が積極的なPR活動を展開してくれる」（22%）などの回答が続いており、**SDGs認証制度による認証を受けることにより、ブランディングやプロモーションに活用したいという期待も大きい**ように見受けられる（図表24-1）。



### 2. SDGs認証制度に期待する効果

続いて、組合としてSDGs認証制度について期待する効果について質問（複数回答）した。



組合としてSDGs認証制度について期待する効果については、「組合のブランドイメージの向上」が最も多く、52%となっている。次いで、「組合の知名度・プレゼンスの向上」が34%と続いている。これらの回答から、**組合のブランディング強化や知名度向上への効果への期待が大きい**ことがわかる。

次いで、「組合員企業からの組合に対する評価向上」（25%）や「組合員数の増加・脱退防止」（16%）など、**対外的なブランディングにおける効果だけではなく、組合と組合員というインターナルな視点での効果も期待**されている（図表24-2）。

図表24-3：SDGs認証制度に期待する効果（業種別）

	製造業		建設業		複合業種		小売業		サービス業		卸売業		運輸業		その他業種		農業		金融・保険		鉱業	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
組合のブランドイメージの向上	13	39%	10	50%	9	45%	9	60%	6	55%	9	82%	2	67%	3	100%	0	0%	0	0%	1	100%
組合の知名度・プレゼンスの向上	11	33%	4	20%	5	25%	8	53%	6	55%	2	18%	2	67%	2	67%	0	0%	0	0%	1	100%
組合員企業からの組合に対する評価向上	6	18%	7	35%	4	20%	2	13%	6	55%	3	27%	0	0%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%
組合員数の増加・脱退防止	2	6%	5	25%	6	30%	2	13%	2	18%	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
新たな事業機会の創出・獲得	4	12%	1	5%	4	20%	2	13%	3	27%	3	27%	0	0%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%
組合や組合員企業の取引先との関係強化	10	30%	1	5%	2	10%	2	13%	1	9%	1	9%	0	0%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%
組合職員の人材確保・育成	3	9%	3	15%	2	10%	1	7%	0	0%	2	18%	0	0%	2	67%	0	0%	1	100%	0	0%
組合職員のモチベーション向上	0	0%	2	10%	0	0%	2	13%	0	0%	2	18%	0	0%	2	67%	2	100%	1	100%	1	100%
組合の新事業・新サービスの創出	0	0%	4	20%	2	10%	1	7%	2	18%	2	18%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
金融機関からの評価向上	3	9%	1	5%	0	0%	0	0%	2	18%	2	18%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
円滑な資金調達	2	6%	0	0%	3	15%	0	0%	0	0%	1	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
認証取得組織の交流・連携促進	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%	1	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
特にない・わからない	8	24%	3	15%	4	20%	1	7%	2	18%	0	0%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総回答件数	33	100%	20	100%	20	100%	15	100%	11	100%	11	100%	3	100%	3	100%	2	100%	1	100%	1	100%

組合の業種別にみてもSDGs認証制度について期待する効果の回答傾向は、全体と大きく変わらない。しかしながら、**製造業**においては「組合のブランドイメージの向上」や「組合の知名度・プレゼンスの向上」が多いことは全体的な回答の傾向と変わらないものの、**「組合や組合員企業の取引先との関係強化」（30%）が3番目に多い回答**となっている。

他の業種においては見られない回答傾向であり、特に、**サプライチェーンのなかで事業展開を図らなければならない製造業の立場と認識が、SDGs認証制度への期待を込めて示されているものと推察**する（図表24-3）。

# V.SDGsに関連する問題

---

# V. SDGsに関連する問題

## 1. SDGsに関連する問題

組合あるいは組合員企業において、SDGsへの対応やSDGsの取組が不十分なことが要因となって発生した問題等について質問したところ、以下のような回答があった。

### 【製造業】

No.	内容
1	現状は支障は無いが、環境面も踏まえ検討する必要がある。木材納入に関しては合法性が問われており、各市町村においての伐採証明等が必要になっている。
2	企業認証制度の導入に向けて何がどの程度必要なのか、より具体的に知りたい。また制度を受けた（取得）したからといって、どのようなメリットがあるのか、取得費用に対しての費用対効果が無ければ取得する意味はない。
3	組合員からの直接の意見ではないが、大手企業からの受注を受ける要件として環境に配慮していることが求められている。
4	未確認ではあるが、OEM生産がまだ多く残っていることから、受注先企業からの何かしらの要請を受けている組合員もある。

### 【小売業】

No.	内容
1	SDGsは当然なんだと意識を洗脳すべし。

### 【サービス業】

No.	内容
1	SDGsを推奨するにあたり、現状事業場の置かれている環境とのギャップが大きく、認識の隔たりが大きい。認識を改善することが必要。

実際に何らかの問題が起こったという回答はないが、取引先からの要請があること、あるいは今後要請が厳しくなってくるという回答が見られた。また、組合あるいは組合員企業において、SDGsの必要性等についての認識強化を図る必要があることについても言及されている。



# ヒアリング調査

## 【調査方法】

SDGs推進及びそれに付随する取組を行う組合に対して、その詳細に関するヒアリング調査を実施

## 【調査内容】

- ①組合で取り組むSDGs推進の内容やきっかけ
- ②SDGs推進の取組内容に対する効果
- ③SDGs推進の取組内容に対する課題
- ④今後の展望

## 【調査先の選定基準】

SDGsに関する取組が進んでいる組合に対して事例紹介を目的としたヒアリングを実施

→アンケート調査において

- ・SDGsに関する取組状況→「SDGsへの取組を既に実施している」
- ・SDGsの取組段階→「ステップ4：目標を達成すべく具体的なアクションを遂行し組織への定着を図っている段階」
- ・具体的な取組内容の記載⇒「記載あり」

以上、3項目の回答を行った組合の中から承諾を得た組合をヒアリング調査先として選定

## 【ヒアリング調査先】

組合名	取組状況等
奈良県印刷工業組合	全国団体でもSDGsを意識した活動が行われているなか、本県においてもメディアユニバーサルデザインへの対応をいち早く取り入れ、研修等を通じて普及促進を図っている。近年では教育機関向けに紙の端材提供等も行い、SDGs推進には積極的である。
奈良県木材協同組合連合会	木材関連団体の連合会ということで、木材の有効利用（建造物の木質化、木質バイオマス発電への協力等）に向けた取組についてSDGsを意識したうえで行われている。ホームページ等でもSDGs推進に関してPRしており、積極的に活動が行われている。
奈良県建設塗装工業協同組合	非常用水の備蓄、LED照明への変更、ペーパーレス活動等、すぐに行える範囲での取組は積極的に行っている。また、県内施設の落書き清掃や環境負荷を考慮した材料の使用推進等組合事業に対してもSDGsを意識した活動を行っている。

所在地

〒630-8215 奈良県奈良市東向中町6番地 奈良県経済倶楽部 4F

組合員数

34

URL

http://www.nara-inko.or.jp/



## 1. 組合で取り組むSDGs推進の内容やきっかけ

奈良県印刷工業組合（以下、当組合）では、**メディアユニバーサルデザイン（以下、MUD）の普及促進や教育機関への紙の端材提供などを中心に、SDGs推進の取組を進めている。**

SDGs推進のきっかけとなったのは、10年以上前から全日本印刷工業組合連合会（以下、全印工連）が牽引する形で全国的な普及活動が行われていたなか、**関わりの深い大阪府印刷工業組合が先駆的にMUDに取り組んでいたことに大きな影響を受けたことである。**

奈良県では印刷業界だけではなくクライアント側となる行政や企業、寺社仏閣においても、認識不足・配慮意識の欠如が目立っていたことから、当組合においてもMUDの普及啓発が必要との認識が広がり、**専門家によるMUDに関するセミナー開催や、NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会による「メディア・ユニバーサルデザイン教育検定」の取得、全印工連主催「MUDコンペティション」への出展奨励、MUDに関する啓発ポスターの作成と掲示の推奨を行ってきた。**

これらの取組から、視覚障がい者等はもちろん、老人、子供、外国人などを含め、社会的な困難を抱える人々に配慮し、色使いやフォントに配慮したわかりやすく、見やすく、使いやすい印刷物の制作を心掛けていくという考え方が、組合員にも根付いてきている。

### 【MUD：メディアユニバーサルデザインとは】

メディアユニバーサルデザイン（Media Universal Design, MUD）は、メディアや情報伝達手段において、すべての人々が平等に情報にアクセスできるように配慮されたデザインのこと。

特に高齢者や障害を持つ人々に配慮し、誰もが使いやすい情報提供方法を追求する考え方で、この理念は印刷物だけではなく、デジタルメディアや映像などの幅広い分野に適用されるものである。

高齢者は、白地に淡い藍色など（明度差のない）の配色は見づらい人が多い。明度差をつけるようにしましょう。

通常のUDに配慮された書体は、レターサイズ（字面）が大きい。欧文では、「Frutiger」が高齢者や弱視者にも見やすい。

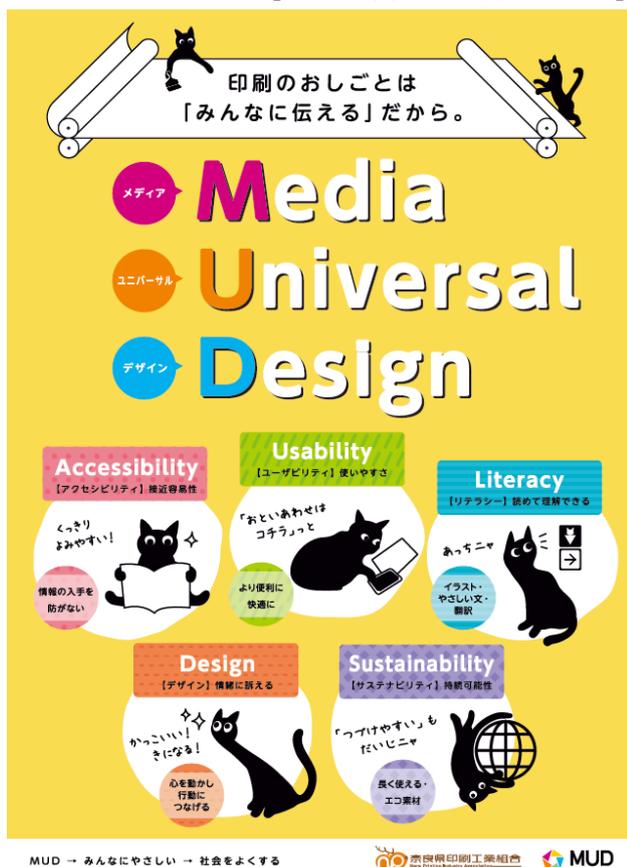
## 2. SDGs推進の取組に対する効果

当組合のSDGs推進の取組は少しずつではあるが効果を上げており、特に組合員企業の意識が高まってきたと感じている。また、**セミナーには行政関係者なども参加するなど、クライアントを巻き込んだ普及啓発を行うことができた。**

印刷物の制作において、MUDを意識する企業も当初より増えており、またNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会による「メディア・ユニバーサルデザイン教育検定」資格を取得する組合員もでてきている。**組合のセミナーや啓発ポスターの掲示等の取組を通じて、組合員の仕事の受注内容にも変化が見られ、視覚に配慮した色使いが採用されるなど、印刷物の質も向上してきている。**

なお、コロナ禍の際、外で遊べない子供のために奈良県内の幼稚園や小学校へお絵描き帳として使える紙の端材提供を行った際には、お礼の手紙が届いたこともある。組合としての社会貢献が評価され、地域との連携が深まるとともに、組合員企業にとっての**モチベーション向上**や**組合及び組合員の企業イメージの向上**にもつながった。

### 【MUDに関する啓発ポスター】



## 3. SDGs推進の取組に対する課題

SDGs推進の取組に対する課題としては、まず、**SDGsやMUDの社会的認知度の低さがある**と感じている。特に、MUDは業界内でも十分に浸透しているとは言えず、多くの企業がMUDの理念を理解しつつも、実際の現場で具体的な成果を挙げるところまでは至っていない。

また、業界の外を見ると、MUDの認知度はさらに低い。MUDの社会的な認知度を上げていくことができれば、もっと組合員の仕事を増やすことにもつながるのではないかと考える。そのためには、**公共機関の入札条件にMUDを取り入れる等、大企業がサプライチェーンの中で取引条件に組み込むように働きかけていくことも必要**と感じている。

また、組合員の経営者やデザイナーに対する教育もまだ不十分であり、現場での実践につながっていないという面もある。SDGsやMUDの推進の効果が十分に発揮されるためには、組合員企業内部での啓発活動や意識改革が不可欠であるが、それ以上に経営者や社員においてこれらの取組を「自分ごと」として取り組むことが必要と思われる。**経営者が社員を巻き込み、SDGsやMUDへの取組がなぜ仕事に必要なのかを理解させながら事業を推進していくようなリーダーシップが求められている。**

## 4. 今後の展望

今後の展望としては、SDGsやMUDの業界内外での認知度をさらに高め、組合員による現場の実践と具体的な成果へとつなげていくとともに、クライアント側からもSDGsやMUDの取組を要望されるようにしていきたい。そのためにも、**SDGsやMUDに関する取組の具体例を示し、組合員がSDGsやMUDを自社の業務にどのように取り入れられるかを考えやすくしていくことが重要**である。

また、“やりっぱなし、言っぱなし”にならないよう、SDGsやMUDに関する取組の効果をチェックし、継続的な改善を行うための効果測定の仕組みや体制を整えていかなければならない。これからは、**企業が単に理念としてSDGsやMUDを掲げるだけでなく、実際の業務にどのように反映させ、取組効果の評価を行っていくのか**が求められている。

なお、SDGsの推進に関連し、全日本印刷工業組合連合会の推進する「CSR認定制度」取得やサステナビリティ委員会の活動にも積極的に関わってきたい。

# 奈良県木材協同組合連合会

所在地	〒633-0062 奈良県桜井市粟殿354番地
組合員数	11
URL	<a href="https://naraken-mokuzai.jp/">https://naraken-mokuzai.jp/</a>



## 1. 組合で取り組むSDGs推進の内容やきっかけ

奈良県木材協同組合連合会（以下、当会）では、以前から「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用への取組を推進してきた。

SDGs（持続可能な開発目標）が国連で採択された後、**国において、我が国の森林の循環利用とSDGsの関係が明確化されたこと（下記「我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係」参照）が、SDGsを特に意識するきっかけとなった。**

具体的な事業としては、**建築物の木造・木質化の推進に向けて木材並びに奈良県産材の利用促進に取り組む**とともに、違法伐採を防ぎ、合法的に伐採した木材の利用を推進するため、合法性・持続可能性の証明及び間伐材の確認、発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者の認定などを実施している。

### 【林野庁：我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係】

SDGsの目標15に「持続可能な森林の経営」と掲げられているほか、森林そのものが様々なSDGsに貢献（目標6,11,13,14,15）

- 木材やきのこの等の森林資源の利用（生産・加工・流通のプロセスを含む）や、森林空間の利用は、その目的・内容に応じ様々なSDGsに貢献（目標2,3,4,5,7,8,9,11,12,13）
- これらの利用は、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっており、SDGsで重視されている環境・経済・社会の諸課題への統合的取組の表れといえるもの
- この循環においては、再生林や合法性が確認された木材の利用等を通じて森林が健全に維持されることが前提であり、林業・木材産業は要の役割



注1：アイコンの下の文言は、我が国の森林の循環利用との関わりにおいて期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。  
 注2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。  
 注3：これからの様々な取組により、ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。

## 2. SDGs推進の取組に対する効果

地球温暖化問題に関心が高まった頃より、森林が温室効果ガスである二酸化炭素の吸収源と言われ、また、木は炭素を固定して、木造の建物は建設時のCO<sub>2</sub>排出量が抑えられ、地球温暖化問題解決に貢献することが言われた。

【吉野の山々】

その結果、**木材を利用することは、SDGsに貢献することが幅広く認識**されるようになった。

また、国においても、令和3年10月から「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（通称：都市の木造化推進法）が施行され、**公共建築物や一般建築物に木造・木質化を推進していくこととなり、公共建築だけでなく民間の木造建築にも注目**が集まってきた。



## 3. SDGs推進の取組に対する課題

若い経営者の中には、SDGsをビジネスに活かそうという意識を持つ者もいるが、木を使うことが環境にやさしいのは当たり前と考え、SDGsを企業の成長やPRの手段として活かす意識が乏しい経営者もいる。

**SDGs推進の取組が、企業経営や社会貢献に具体的にどのように役立つかについての理解を深め、外部へのアピールに活かして工夫が必要**である。

また、**SDGsを推進する上での経費負担や、明確な支援制度が不足していることも、取組の課題**となっている。特に、SDGsに関連する印刷物の制作やプロモーション活動を行うためには追加のコストがかかるため、補助金等による公的な支援が望まれる。

さらに、SDGsの取組が組合や企業にとって、どのようなメリットがあるかについて、助言や指導を行うような支援も必要である。具体的な支援がないと、企業がSDGsを意識して行動を起こすインセンティブが不足してしまうため、普及も進まないのではと考える。

## 4. 今後の展望

今後の展望として、本来の事業である**木材利用の推進が引き続き重要なテーマ**である。

都市の木造化推進法が施行され、様々な建物に木材を利用する動きが広がっており、これを好機に、木材並びに奈良県産材の魅力を積極的にPRして、これまで以上に建築物の木造・木質化の推進に取り組んでいくことが、SDGsの推進につながっていくと考える。

また、次世代の経営者や従業員においては、SDGsを積極的に事業戦略や日常業務の遂行に活かしていくことが求められる。

そのためには、SDGsへの取組が企業にもたらすメリットを明確にして、意識改革を図ること、また、そのために**成功事例の共有や専門家のアドバイスの提供、費用面での支援制度の拡充**などが期待される。

加えて、木材利用の促進を図るためにも、当会や当会組合及び組合員だけでなく、**公共建築物を発注する自治体職員等、幅広くSDGsの認知度の向上、知識学習を働きかけていくことも重要**と考える。

【奈良県コンベンションセンター】



【吉野さくら学園 (2F南階段前)】



# 奈良県建設塗装工業協同組合

所在地	〒632-0074 奈良県天理市東井戸堂町412-10-202	
組合員数	11	
URL	<a href="https://www.nara-tosou.com/nakent/">https://www.nara-tosou.com/nakent/</a>	

## 1. 組合で取り組むSDGs推進の内容やきっかけ

奈良県建設塗装工業協同組合としてのSDGsへの取組は、外部からの要請や明確な指導等があったわけではなく、**日常的なコスト削減や省エネ推進など経済的な観点から始まったものである。**

具体的には、FAXをメールに変更して**ペーパーレス化**を推進、**エアコンの温度**を28℃に設定、**事務所の照明にLEDを導入**するなどの取組を実施している（以下「具体的な取組内容」参照）。

SDGsを意識して行動しているというよりは、**経済的な理由で実施してきた活動が、結果的としてSDGsに合致していた**ということである。

また、**経済的な理由からはじまった取組だけではなく、環境保護や法令遵守の観点から、落書き清掃や、アスベスト取扱作業従事者特別教育の受講**などにも取り組んでいる。



### 【具体的な取組内容】

目標（ゴール）	具体的な取組内容
目標3	アスベスト取扱作業従事者特別教育の受講
目標6	非常用水の備蓄
目標7	事務所の照明へのLED導入
目標8	働き方改革関連法の対応のための勉強会開催
目標11	奈良県主催の「クリーンアップなら」にて県内施設の落書き清掃実施
目標12	書類印刷の際に裏紙を使用、燃料を使わない電気コンプレッサーの使用
目標13	事務局職員のクールビズ対応、エアコン設定温度28℃
目標15	組合員への案内をメールにしてペーパーレス化推進、人体・環境への影響が少ない水性塗料を使用した事業の実施
目標17	上部団体が実施している活動への参画

## 2. SDGs推進の取組に対する効果

SDGs推進の効果としては、**コスト削減が直接的な効果**として挙げられる。光熱費等の経費削減等によって直接的な利益を生み出すことがモチベーションとなって、SDGsへの取組がより持続可能なものとなっている。

また、組合員個別ではなく、**組合として全体で一体感を持って行動することが、メンバーの取組意識の向上につながっている**。個人では行動しにくい活動も、組織全体の取組となることで進めやすくなっている。奈良県主催の「クリーンアップなら」での県内施設の落書き清掃などは、昔に比べて参加してくれる組合員が増えており、特に30代～40代の若い人の参加意識が高い。

さらに、最新の環境配慮型塗料の勉強会や働き方改革に関するセミナーなど、法令遵守や最新技術の導入に関する勉強会の開催により、組合員の技術力や知識が向上し、業務の質の改善や業務効率の向上にもつながっている。



## 3. SDGs推進の取組に対する課題

SDGs推進における課題としては、SDGsの社会的な認知度が中小企業レベルでは十分に高まっておらず、**SDGsだから積極的に取り組もうという意識や参加意欲は大企業等に比べてまだまだ低い**。コスト削減や法令順守が第一義的な動機であり、また組合員の中でもSDGsへの理解や関心が深くないこともあってSDGsを明確に意識した行動につながっていないため、**組合員に対する情報共有や意識啓発が課題**である。

また、**SDGsに関連する補助金などの支援制度も不足しており、積極的に活動を推進し広げていくことも難しい状況**である。

加えて、組合としての活動が直接的な経済的メリットにつながりにくく、組合員数の減少や脱退防止といった組合運営上の課題も抱えている。組合に加入するメリットが明確ではないと感じる事業者も増えており、組合の存在意義や活動内容を再検討する必要性もある。奈良県のSDGs認証制度がどのような内容になるかはわからないが、**組合が認証を取得することで、例えば、組合員であれば入札の際に加点されるなど、組合のメリットや組合員の増加につながるような効果を期待したい**。

## 4. 今後の展望

今後、何か特別なSDGsに関連した取組を実施するという具体的な計画はないが、省エネ・省資源の観点、環境保護や法令順守の観点から、これまでどおり**具体的な取組を継続していくことが、結果として今後もSDGsを推進していくことにつながる**と考えている。

奈良県が構築しようとしているSDGsの認証制度にも期待を寄せている。課題のところでも述べたように、認証を取得することで、組合や組合員の知名度向上、公共事業受注時の優位性など、具体的なメリットが得られることを期待している。**組合としても、認証制度のメリットを組合員数の増加や脱退防止につなげていきたい**。加えて、SDGsや省エネ・省資源につながるもので、特に塗装業界に特化して活用できる支援策や補助金制度の構築にも期待している。

# 全体総括

---

# 1. SDGsの認知度

SDGsについては、全体の63%が「SDGsをある程度知っている」、25%が「聞いたことがある」と回答しているものの、「詳しく知っている」と答えたのはわずか6%にとどまった。また、SDGsを知ったきっかけで最も多かったのは「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍」が71%、続いて「インターネット・SNS等の情報」が40%であった。

SDGsの推進に向けては、さらなる認知度の向上や理解の深化を図るための具体的で詳細な情報提供が必要と思われる。マスメディアやインターネットのみならず、組合の実情や業種の特性などを踏まえた、セミナーや研修、専門家による指導・助言など、多様な施策による情報提供と教育、啓発を行うことが求められる。

# 2. SDGsの取組と認識の深さの関連

「SDGsへの取組を既に実施している」という組合は12%、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合が42%であった。アンケート調査の結果からは、SDGsの認知度と組合のSDGsの取組状況との関係性から、SDGsの推進においては、SDGsに対する知識の保有状況や認識の深さが重要な要素となっていた。

ヒアリング調査を実施した組合においても、組合の事業とSDGsの関連性について理解した上で、SDGsの取組や組合の事業を推進していることがわかった。

SDGsについて深く理解している組織は、具体的な取組を実施している傾向が強く、ここでも同様に、組合への知識や情報の提供、啓発活動の強化の必要性が示された。SDGsに対する理解の深化を図ることが、SDGsに関する意識の向上とともに、具体的な行動につながっていくことが期待できる。

# 3. 無意識の貢献

「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合が42%に上るよう、SDGsと特別に認識していなくても、SDGsに関連する取組を実施している組合は多く存在している。

SDGsについての知識が浅い、またはSDGsとの認識がない、あるいはSDGsの知識がない組合でも、SDGsのフレームワークを認識・習得することで、既存の取組をSDGsの枠組みと関連付けられるようになり、組合の潜在的な活動を顕在化し、SDGsの取組の効果を最大化できる可能性もある。

ヒアリング調査を実施した奈良県建設塗装工業協同組合も、当初は省エネ・省資源、コスト削減という切り口からの取組を、SDGsを知ることによってSDGsと関連付けて取り組むようになったことにより、若手を巻き込んだ組織の一体感の醸成へとつなげている。このような組合を増やしていくためにも、SDGsに関する知識や情報の提供、啓発活動を実施することが有効と思われる。

また、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合の無意識の取組のなかにも、実際にはSDGsの目標（ゴール）と関連づけられる取組も多い。アンケート調査では、無意識の取組を今後SDGsの取組と位置付けていくという意向が56%を占めるなど、SDGsをより深く理解することで、今後SDGsの活動として顕在化させる可能性も十分に見込まれる。

会計基準によって企業の業績を比較できるように、ミシュランガイドによって飲食店を比較できるように、SDGsとは認識せずに行っている潜在的な活動も、SDGsの枠組みにあてはめることで世界基準の共通の「ものさし」で評価してもらえるようになる。その評価が、取引先の開拓や人材の確保、職員のモチベーション向上や、組合のプレゼンス向上につながる可能性もある。せっかくの取組を、無意識の貢献として自らの枠内で留めておくことは、非常にもったいないことなのではないだろうか。

# 4. SDGsの取組を推進するにあたっての課題

「SDGsへの取組を既に実施している」及び「SDGsへの取組を今後具体的に予定している」組合と「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合においては、SDGsやその取組方法、メリット、支援制度等の「知識や情報不足の壁」、人材・資金・時間がないという「リソースの壁」、SDGsの目標をどのように具体的な方針や行動計画に組み込めば良いのかわからない「目標設定と計画策定の壁」の3つの壁の克服が課題であることがアンケート調査から示唆された。組合のSDGsの推進を支援していくにあたっては、これら3つの壁の克服に寄与する支援が求められる。

なお、「SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するような取組を実施している」組合においては、「SDGsと位置付けるメリットがわからない」という回答もあり、SDGsに懐疑的な立場をとっていると思われる組合もあったが、このような立場をとる組合に対してもSDGsに対する深い理解を促していく必要性があるのではないかと推察する。

知識や情報不足の壁

リソースの壁

目標設定と計画策定の壁

## 5. SDGsに取り組む意義やメリット

アンケート調査では、SDGsに取り組んだ効果や取り組むメリットについて、「組合の社会的責任」や「組合の価値・イメージの向上」という回答が大半を占めた。また、ヒアリング調査においても、省エネ・省資源によるコスト削減など直接的なメリットを挙げながらも、**一方ではSDGsの取組（あるいはそれに対する奈良県の認証取得）が組合員の増加や組合員の脱退防止につながればという期待のこもった意見もあった。**

SDGsに既に取り組んでいる組合はもちろん、取り組んでいない組合も同様に、SDGsに取り組むことが社会的責任を果たすことにつながり、ひいては組合の価値・イメージ、知名度やプレゼンスの向上につながったという実績、あるいはつながる可能性への期待感があるものと思われる。

## 6. 期待する支援策と認証制度に求めること

SDGsの取組を推進するうえで期待する支援策という観点では、「SDGsに関する取組事例の情報提供・発信」、「SDGs推進に関する助言や提言」、「SDGsへの取組に活用できる補助金・助成金」、「SDGsに関するセミナーやシンポジウム等の開催」という回答が上位を占めた。また、ヒアリング調査においても、SDGsの取組に対する費用面での支援、助言や指導を求める声が挙がっていた。

これらは、SDGsを推進するにあたっての課題である「知識や情報不足の壁」、「リソースの壁」、「目標設定と計画策定の壁」の克服に寄与する支援策であり、組合が抱えている課題と組合が求めている支援策には整合性がある。

また、奈良県が準備を進めている認証制度に対して期待するメリットについては、「補助金・助成金の交付がある」こと、「SDGsに関する情報提供が受けられる」こと、「税制優遇がある」こと、「補助金・助成金の加点要素」となることが上位を占めており、ここでも情報提供や資金面での支援が望まれており、「知識や情報不足の壁」、「リソースの壁」の克服が意識されている。

奈良県が準備を進めている認証制度に対して期待する効果としては、「組合のブランドイメージの向上」や「組合の知名度・プレゼンスの向上」が多くを占め、「組合員企業からの組合に対する評価向上」や「組合員数の増加・脱退防止」といった回答が続く。これは、SDGsに取り組んだ効果や取り組むメリットとして挙げられた回答に類似しており、組合におけるSDGsの取組に対して、「公的で強力な”お墨付き”への期待があるとともに、組合員の増加・脱退防止を含む組合のプレゼンスの向上につなげたいという意識の表れ」のように見受けられる。

## 7. 今後の支援のあり方

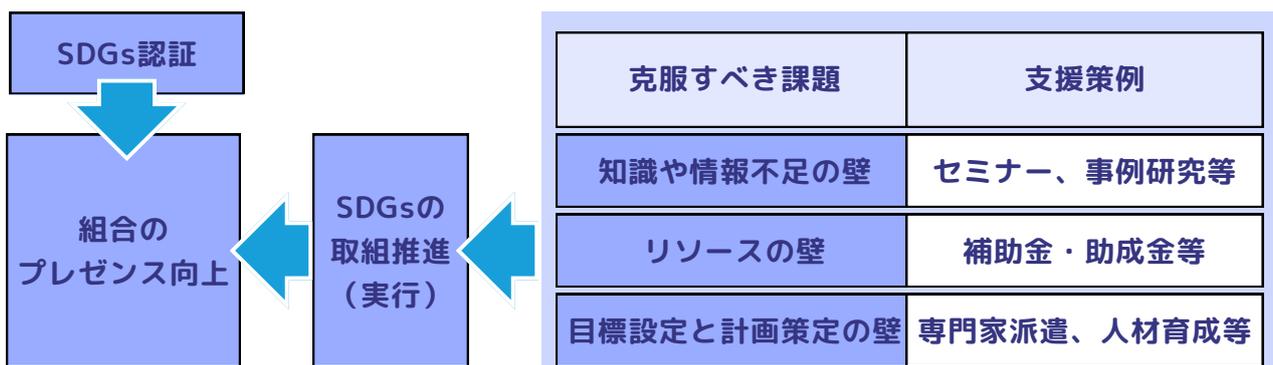
これまで以上にSDGsの取組を推進し、組合の知名度やプレゼンスの向上を図るためには、「知識や情報不足の壁」、「リソースの壁」、「目標設定と計画策定の壁」を克服しなければならない。

「知識や情報不足の壁」を克服するためには、SDGsをテーマとしたセミナーやシンポジウムの開催、成功事例の発信と共有、専門家による助言や指導、相談窓口の設置などの支援策が必要である。

「リソースの壁」の克服に向けては、補助金・助成金や税制優遇などの資金面の支援や、専門人材の採用・確保支援などの人材面の支援が期待される。

「目標設定と計画策定の壁」の克服については、専門家の活用に加えて、人材の育成・教育支援により、SDGsを実際の事業や業務に組み込み、PDCAサイクルによるマネジメントシステムを実施できる仕組みと体制の構築を支援していくことが期待される。

今後の支援のあり方として、これらの支援策と今後予定されているSDGsの認証を合わせて実施していくことが、組合のプレゼンスを向上させる鍵になると考えられる。



# アンケート調査票

---

※必ずこのページをよく読んでいただいたうえでアンケートに回答願います。

SDGs 推進に関する実態調査：奈良県中小企業団体中央会 令和6年度活路開拓等調査事業「環境変化対応調査事業」

## 「環境変化対応調査事業」SDGs 推進に関する実態調査

SDGs への取組は、小さなことでもみんなができることから取り組んでいくことが大切であり、難しく考える必要はありません。また、SDGs とは意識していなくても、既に SDGs に関連するような取組をしている場合も多くあります。

以下の表に SDGs の目標とそれぞれの具体的な取組例について整理しています。よりスムーズにご回答いただくために、まず以下の表をご確認ください。その後、次ページ以降のアンケート回答へとお進みください。

目標		取組み例
1 貧困をなくそう	【目標1】 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	① 貧困地域への支援等を目的とした寄付 ② ボランティア活動支援
2 飢餓をゼロに	【目標2】 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	① 食品ロスの削減 ② フードバンクへの食品提供、こども食堂の運営
3 すべての人に健康と福祉を	【目標3】 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	① 定期的な健康診断実施・健康的な職場環境の提供 ② 健康増進プログラム(職場まるごと健康宣言等)推進
4 質の高い教育をみんなに	【目標4】 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する	① 地元教育機関への寄付 ② インターン(職業体験)の受け入れ
5 ジェンダー平等を実現しよう	【目標5】 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う	① 男女平等な給与体系の構築 ② 男女ともに利用できる育児休暇制度の充実
6 安全な水とトイレを世界中に	【目標6】 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	① 事業所の節水対策の推進、浄水・節水設備の導入 ② 非常時の非常用水の備蓄
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	【目標7】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	① LED照明など省エネ効果の設備への更新 ② 節電啓発活動の実施
8 働きがいも経済成長も	【目標8】 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	① 長時間労働の防止など働き方改革の推進 ② 職員向けスキルアップ研修の参加勧奨
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	【目標9】 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	① 大学や研究機関、他企業との連携推進 ② 職人による技術提供(技能訓練)
10 人や国の不平等をなくそう	【目標10】 人や国の不平等をなくそう 各国内および各国間の不平等を是正する	① 外国人材の積極的な雇用や雇用の支援 ② 障がい者の雇用促進
11 住み続けられるまちづくりを	【目標11】 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する	① 地域清掃活動への参画や活動への支援 ② 組合員同士の緊急連絡網の整備
12 つくる責任 つかう責任	【目標12】 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する	① 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進 ② 環境にやさしい製品の使用
13 気候変動に具体的な対策を	【目標13】 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	① エコスタイルの実施 ② 省エネ設備の導入・更新
14 海の豊かさを守ろう	【目標14】 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	① 事業所単位でのペットボトルリサイクルの実施 ② 環境に配慮したレジ袋の活用
15 陸の豊かさを守ろう	【目標15】 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	① 環境管理に配慮した紙(FSC認証等)を使用 ② ペーパーレス可・オンライン決済等による紙の削減
16 平和と公正をすべての人に	【目標16】 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	① コンプライアンス(※5)体制の強化 ② 定期的な人権教育の実施(セミナーの参加等)
17 パートナリシップで目標を達成しよう	【目標17】 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化	① 業界団体や大学、自治体等との連携・協働推進 ② 地域コミュニティとの連携

## SDGs 推進に関する実態調査：アンケート調査票

<p>✓ ご記入いただいた内容は統計的に処理し、本事業の目的以外には利用しません。また、回答者個人が特定されることもありません。</p> <p>✓ 特に指定している場合を除き、「組合」としての回答をお願いします。</p> <p>✓ 令和6年7月5日（金）までに、FAXで返信いただくか、右記QRコードもしくは下記URLからWebフォームにご入力の上ご回答ください。                  [FAX] 0742-41-0125 [WebフォームURL]: <a href="https://x.gd/rdPKk">https://x.gd/rdPKk</a></p>	
--	---

### I. 基本情報

#### 1 貴組合の概要についてお聞かせください。

貴組合名					
組合員数	名	記入者	役職	常勤役員	非常勤役員
			いずれかに「〇」	事務局職員	組合員
		氏名			
組合事務所の設置状況	<input type="checkbox"/> 事務所（所有） <input type="checkbox"/> 事務所（賃貸） <input type="checkbox"/> なし（理事長企業等が兼任）				
事務局雇用役職員の有無	<input type="checkbox"/> あり（常勤役員を含む） <input type="checkbox"/> なし（理事長企業等が事務局兼任）				
実施している共同事業 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 共同購買 <input type="checkbox"/> 共同受注 <input type="checkbox"/> 共同販売 <input type="checkbox"/> 共同生産・加工 <input type="checkbox"/> 共同保管・物流 <input type="checkbox"/> 外国人技能実習生受入事業 <input type="checkbox"/> その他				

### II. SDGs の認知度と取組状況

#### 2 SDGs について知っていますか？あてはまるものをひとつ選んで☑してください。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
①詳しく知っている	②ある程度知っている	③聞いたことがある	④知らない（今回の調査で初めて知った）
→ 下記「3」へ	→ 下記「3」へ	→ 下記「3」へ	→ 下記「4」へ

#### 3 上記2で、①②③を選択した方にお伺いします。SDGs を知ったきっかけについて、あてはまるものをすべて選んで☑してください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 組合員企業からの情報提供・対応の要請  | <input type="checkbox"/> 組合役員や職員からの情報提供    |
| <input type="checkbox"/> 行政からの情報提供・対応の要請     | <input type="checkbox"/> 取引先からの情報提供・対応の要請  |
| <input type="checkbox"/> 他組合からの情報提供・対応の要請    | <input type="checkbox"/> 業界団体からの情報提供・対応の要請 |
| <input type="checkbox"/> 支援機関からの情報提供・対応の要請   | <input type="checkbox"/> 専門家からの情報提供・助言     |
| <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍の情報 | <input type="checkbox"/> インターネット・SNS等の情報   |
| <input type="checkbox"/> シンポジウム・講演会・セミナー     | <input type="checkbox"/> 中央会からの情報提供・対応の要請  |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に（           | ）  |

#### 4 SDGs に関する組合としての取組や対応の状況について、あてはまるものをひとつ選んで☑してください。（※同封のA3用紙【取り組み例】を確認しながら回答してください）

- ①SDGsとは認識していないが、SDGsに関連するよう取組を実施している（3ページ「5」へ）
- ②SDGsへの取組を既に実施している（→4ページ「6」へ）
- ③現在は取り組んでいないが、SDGsへの取組を今後具体的に予定している（→4ページ「6」へ）
- ④現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定である（→6ページ「7」へ）
- ⑤現在は取り組んでおらず、今後も取り組む意思はない（→6ページ「7」へ）

5 「SDGs とは認識していないが、SDGs に関連するような取組を実施している」組合(団体)にお伺いします。

5.1 現在の取組を SDGs にあてはめるとした場合、SDGs の 17 の目標（ゴール）のうち、どのゴールに関連する取組と考えられるか、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

(※同封の A3 用紙【取り組み例】を確認しながら回答してください)。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 【目標 1】 貧困をなくそう             | <input type="checkbox"/> 【目標 2】 飢餓をゼロに        |
| <input type="checkbox"/> 【目標 3】 すべての人に健康と福祉を        | <input type="checkbox"/> 【目標 4】 質の高い教育をみんなに   |
| <input type="checkbox"/> 【目標 5】 ジェンダー平等を実現しよう       | <input type="checkbox"/> 【目標 6】 安全な水とトイレを世界中に |
| <input type="checkbox"/> 【目標 7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | <input type="checkbox"/> 【目標 8】 働きがいも経済成長も    |
| <input type="checkbox"/> 【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう     | <input type="checkbox"/> 【目標 10】 人や国の不平等をなくそう |
| <input type="checkbox"/> 【目標 11】 住み続けられるまちづくりを      | <input type="checkbox"/> 【目標 12】 つくる責任 つかう責任  |
| <input type="checkbox"/> 【目標 13】 気候変動に具体的な対策を       | <input type="checkbox"/> 【目標 14】 海の豊かさを守ろう    |
| <input type="checkbox"/> 【目標 15】 陸の豊かさを守ろう          | <input type="checkbox"/> 【目標 16】 平和と公正をすべての人に |
| <input type="checkbox"/> 【目標 17】 パートナーシップで目標を達成しよう  |   |

5.2 貴組合の現在の取組内容について、具体的に教えてください。

5.3 SDGs とは認識していないが、SDGs に関連するような現在の取組を、**今後 SDGs の取組と位置付けて実施していく意向はありますか。あてはまるものをひとつ選んで☑してください。**

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
①ある	②ない
→ 下記「5.4」へ	→ 下記「5.5」へ

5.4 上記 5.3 で①「ある」を選択した方にお伺いします。今後 SDGs の取組として位置付けて実施していく上で課題と考えられることについて、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> SDGs に関する知識・理解が不足している                 | <input type="checkbox"/> SDGs や取組方法の情報が不足している   |
| <input type="checkbox"/> 何から取り組めば良いかわからない                      | <input type="checkbox"/> 現在の取組と SDGs の関連性がわからない |
| <input type="checkbox"/> SDGs の社会的な認知度が高まっていない                 | <input type="checkbox"/> 取組に対する支援制度がない          |
| <input type="checkbox"/> SDGs として位置付けるメリットがわからない               | <input type="checkbox"/> 取り組むための時間的な余裕がない       |
| <input type="checkbox"/> 取り組むための人材が不足している                      | <input type="checkbox"/> 取り組むための資金的な余裕がない       |
| <input type="checkbox"/> SDGs として位置付けた場合の優先課題の抽出や目標設定の方法がわからない |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )                          |   |

5.5 上記 5.3 で②「ない」を選択した方にお伺いします。SDGs の取組として位置付ける必要はないと考える理由について、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> SDGs に関する知識・理解が不足している                 | <input type="checkbox"/> SDGs や取組方法の情報が不足している   |
| <input type="checkbox"/> 何から取り組めば良いかわからない                      | <input type="checkbox"/> 現在の取組と SDGs の関連性がわからない |
| <input type="checkbox"/> SDGs の社会的な認知度が高まっていない                 | <input type="checkbox"/> 取組に対する支援制度がない          |
| <input type="checkbox"/> SDGs として位置付けるメリットがわからない               | <input type="checkbox"/> 取り組むための時間的な余裕がない       |
| <input type="checkbox"/> 取り組むための人材が不足している                      | <input type="checkbox"/> 取り組むための資金的な余裕がない       |
| <input type="checkbox"/> SDGs として位置付けた場合の優先課題の抽出や目標設定の方法がわからない |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )                          |   |

次は 7 ページ「Ⅲ」に進んでください

6 SDGs への取組を「既に実施している」または「今後具体的に予定している」組合(団体)にお伺いします。

6.1 SDGs の取組段階について、**あてはまるものをひとつ**選んで☑してください。

- ステップ 1：SDGs の内容（目標やターゲット）や動向等について理解を進めている段階
- ステップ 2：取り組むべき SDGs の優先課題を抽出・検討している段階
- ステップ 3：SDGs の取組目標と具体的なアクションを検討・設定している段階
- ステップ 4：目標を達成すべく具体的なアクションを遂行し組織への定着を図っている段階
- ステップ 5：SDGs の目標達成状況を外部に情報発信しコミュニケーションを行っている段階

6.2 SDGs の 17 の目標（ゴール）のうち、現在、組合として取り組んでいる（取り組もうとしている）目標（ゴール）について、**あてはまるものをすべて**選んで☑してください。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 【目標 1】 貧困をなくそう             | <input type="checkbox"/> 【目標 2】 飢餓をゼロに        |
| <input type="checkbox"/> 【目標 3】 すべての人に健康と福祉を        | <input type="checkbox"/> 【目標 4】 質の高い教育をみんなに   |
| <input type="checkbox"/> 【目標 5】 ジェンダー平等を実現しよう       | <input type="checkbox"/> 【目標 6】 安全な水とトイレを世界中に |
| <input type="checkbox"/> 【目標 7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | <input type="checkbox"/> 【目標 8】 働きがいも経済成長も    |
| <input type="checkbox"/> 【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう     | <input type="checkbox"/> 【目標 10】 人や国の不平等をなくそう |
| <input type="checkbox"/> 【目標 11】 住み続けられるまちづくりを      | <input type="checkbox"/> 【目標 12】 つくる責任 つかう責任  |
| <input type="checkbox"/> 【目標 13】 気候変動に具体的な対策を       | <input type="checkbox"/> 【目標 14】 海の豊かさを守ろう    |
| <input type="checkbox"/> 【目標 15】 陸の豊かさを守ろう          | <input type="checkbox"/> 【目標 16】 平和と公正をすべての人に |
| <input type="checkbox"/> 【目標 17】 パートナリーシップで目標を達成しよう |   |

6.3 上記 6.2 で選択した SDGs の目標（ゴール）に向けた貴組合の具体的な取組内容、アピールしたい取組内容等があれば、具体的にご記入ください。

6.4 組合として SDGs に取り組んだ（今後取り組む）きっかけについて、**あてはまるものをすべて**選んで☑してください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 組合員企業からの情報提供・対応の要請  | <input type="checkbox"/> 組合役員や職員からの情報提供    |
| <input type="checkbox"/> 行政からの情報提供・対応の要請     | <input type="checkbox"/> 取引先からの情報提供・対応の要請  |
| <input type="checkbox"/> 他組合からの情報提供・対応の要請    | <input type="checkbox"/> 業界団体からの情報提供・対応の要請 |
| <input type="checkbox"/> 支援機関からの情報提供・対応の要請   | <input type="checkbox"/> 専門家からの情報提供・助言     |
| <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍の情報 | <input type="checkbox"/> インターネット・SNS 等の情報  |
| <input type="checkbox"/> シンポジウム・講演会・セミナー     | <input type="checkbox"/> 中央会からの情報提供・対応の要請  |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に（           | ）  |

6.5 組合の事業・業務を遂行する上で、SDGs の 17 の目標（ゴール）をどの程度意識していますか？  
**あてはまるものをひとつ**選んで☑してください。

<input type="checkbox"/>					
強く意識している	意識している	やや意識している	どちらともいえない	あまり意識していない	意識していない

**次ページに進んでください**

6.6 組合の事業・業務は、SDGs の 17 の目標（ゴール）にどの程度貢献していると思いますか？  
**あてはまるものをひとつ選んで☑してください。**

<input type="checkbox"/>					
大きく貢献 している	貢献 している	やや貢献 している	どちらとも いえない	あまり貢献 していない	貢献 していない

6.7 SDGs に取り組んだ効果（「今後予定している」場合は期待できる効果）について、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 組合の社会的責任                   | <input type="checkbox"/> 組合の価値・イメージの向上            |
| <input type="checkbox"/> 組合員数の増加・脱退防止               | <input type="checkbox"/> 組合職員の人材確保・育成             |
| <input type="checkbox"/> 組合や組合員企業の収益増加              | <input type="checkbox"/> 組合職員のモチベーション向上           |
| <input type="checkbox"/> 新たな事業機会の創出・獲得              | <input type="checkbox"/> 組合の新事業・新サービスの創出          |
| <input type="checkbox"/> 組合員企業からの組合に対する評価向上         | <input type="checkbox"/> 組合の知名度・プレゼンスの向上          |
| <input type="checkbox"/> 円滑な資金調達                    | <input type="checkbox"/> 組合や組合員企業における新規取引依頼や引合の増加 |
| <input type="checkbox"/> 取引先や組合員企業からの要請により対応せざるを得ない |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に（                  | ）   |

6.8 今後 SDGs の取組を実施していく上で課題と考えられることについて、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> SDGs 推進に関する知識が不足している             | <input type="checkbox"/> SDGs の社会的な認知度が高まっていない |
| <input type="checkbox"/> SDGs の取組に対する支援制度がない              | <input type="checkbox"/> SDGs 推進に対する効果が感じられない  |
| <input type="checkbox"/> 取り組むための時間的な余裕がない                 | <input type="checkbox"/> 取り組むための人材が不足している      |
| <input type="checkbox"/> 取り組むための資金的な余裕がない                 |  |
| <input type="checkbox"/> SDGs 推進のための優先課題の抽出や目標設定の方法がわからない |  |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に（                        | ）  |

**次は7ページ「Ⅲ」に進んでください**

7 SDGs に「取り組む意思が無い」または「未定」の組合(団体)にお伺いします。

7.1 SDGs に取り組んでいない、取り組まない理由についてあてはまるものをすべて選んで☑してください。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> SDGs を知らなかったから               | <input type="checkbox"/> SDGs を理解していないから    |
| <input type="checkbox"/> 組合の事業や業務に関係ないから              | <input type="checkbox"/> 取り組む必要性がわからないから    |
| <input type="checkbox"/> SDGs を推進する人材が不足しているから        | <input type="checkbox"/> 何から取り組めば良いかわからないから |
| <input type="checkbox"/> 取り組むための時間的な余裕がないから           | <input type="checkbox"/> 取り組むための資金的な余裕がないから |
| <input type="checkbox"/> 組合の事業・業務と比べて SDGs の優先順位が低いから |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )                 |   |

7.2 未来に向けて、SDGs の 17 の目標 (ゴール) のうち、組合として取り組みそうだと考える目標 (ゴール) について、あてはまるものをすべて選んで☑してください

(※同封の A3 用紙【取り組み例】を確認しながら回答してください。)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ①【目標 1】 貧困をなくそう             | <input type="checkbox"/> ②【目標 2】 飢餓をゼロに        |
| <input type="checkbox"/> ③【目標 3】 すべての人に健康と福祉を        | <input type="checkbox"/> ④【目標 4】 質の高い教育をみんなに   |
| <input type="checkbox"/> ⑤【目標 5】 ジェンダー平等を実現しよう       | <input type="checkbox"/> ⑥【目標 6】 安全な水とトイレを世界中に |
| <input type="checkbox"/> ⑦【目標 7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに |  |
| <input type="checkbox"/> ⑧【目標 8】 働きがいも経済成長も          |  |
| <input type="checkbox"/> ⑨【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう     | <input type="checkbox"/> ⑩【目標 10】 人や国の不平等をなくそう |
| <input type="checkbox"/> ⑪【目標 11】 住み続けられるまちづくりを      | <input type="checkbox"/> ⑫【目標 12】 つくる責任 つかう責任  |
| <input type="checkbox"/> ⑬【目標 13】 気候変動に具体的な対策を       | <input type="checkbox"/> ⑭【目標 14】 海の豊かさを守ろう    |
| <input type="checkbox"/> ⑮【目標 15】 陸の豊かさを守ろう          | <input type="checkbox"/> ⑯【目標 16】 平和と公正をすべての人に |
| <input type="checkbox"/> ⑰【目標 17】 パートナーシップで目標を達成しよう  |  |

7.3 上記で選択した SDGs の目標 (ゴール) に向けて、貴組合として考えられる具体的な SDGs の取組アイデアや取組施策があれば、具体的にご記入ください

7.4 上記で選択した SDGs の目標 (ゴール) に向けて、取組を行った場合、どのような目的や意義、メリットがあると思いますか、あてはまると思うものをすべて選んで☑してください。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 組合の社会的責任                   | <input type="checkbox"/> 組合の価値・イメージの向上      |
| <input type="checkbox"/> 組合員数の増加・脱退防止               | <input type="checkbox"/> 組合職員の人材確保・育成       |
| <input type="checkbox"/> 組合や組合員企業の収益増加              | <input type="checkbox"/> 組合職員のモチベーション向上     |
| <input type="checkbox"/> 新たな事業機会の創出・獲得              | <input type="checkbox"/> 組合の新事業・新サービスの創出    |
| <input type="checkbox"/> 組合員企業からの組合に対する評価向上         | <input type="checkbox"/> 組合の知名度・プレゼンスの向上    |
| <input type="checkbox"/> 円滑な資金調達                    | <input type="checkbox"/> 組合や組合員企業の取引先との関係強化 |
| <input type="checkbox"/> 取引先や組合員企業からの要請により対応せざるを得ない |   |
| <input type="checkbox"/> 目的や意義、メリットは特にない・わからない      |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )               |   |

次は7ページ「Ⅲ」に進んでください

### Ⅲ. SDGs の推進に向けて期待する支援策と中央会に期待すること等

8 SDGs の取組を進める上で中央会に期待することや期待する支援策について、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> SDGs 推進に関する助言や提言      | <input type="checkbox"/> SDGs に関する相談窓口の設置や個別相談会の開催  |
| <input type="checkbox"/> SDGs に関する専門人材の採用・確保支援 | <input type="checkbox"/> SDGs に関する組合職員の育成支援         |
| <input type="checkbox"/> SDGs に詳しい外部専門家の派遣     | <input type="checkbox"/> SDGs に関するセミナーやシンポジウム等の開催   |
| <input type="checkbox"/> SDGs に関する取組事例の情報提供・発信 | <input type="checkbox"/> SDGs への取組に活用できる補助金・助成金     |
| <input type="checkbox"/> SDGs への取組に利用できる低利融資   | <input type="checkbox"/> SDGs への取組に利用できる債務保証        |
| <input type="checkbox"/> SDGs に関心のある企業等のマッチング  | <input type="checkbox"/> SDGs の取組企業に対する認定・表彰制度      |
| <input type="checkbox"/> SDGs の認定・表彰制度の取得支援    | <input type="checkbox"/> SDGs の取組企業や支援機関などのネットワーク構築 |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )          |   |

### Ⅳ. SDGs 企業認証制度への期待

9 奈良県では、今後、奈良県版「SDGs 企業認証制度構築事業」により SDGs に取り組んでいる組織や企業等の認証（以下、「SDGs 認証制度」）を行う予定です。これについて、以下、お伺いします。

9.1 組合として、SDGs 認証制度について、どのようなメリットがあれば取得したいと考えるか、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 登録証やピンバッジなどの贈呈を受けられる  | <input type="checkbox"/> 認証制度のロゴマークを使用できる     |
| <input type="checkbox"/> 補助金・助成金の交付がある         | <input type="checkbox"/> 補助金・助成金の加点要素となる      |
| <input type="checkbox"/> 低利融資が受けられる            | <input type="checkbox"/> 債務保証が受けられる           |
| <input type="checkbox"/> 出資を受けられる・出資先の紹介を受けられる | <input type="checkbox"/> 税制優遇が受けられる           |
| <input type="checkbox"/> 専門家を派遣してもらえる          | <input type="checkbox"/> 認証取得組織の交流・マッチングがある   |
| <input type="checkbox"/> 人材の確保・育成支援を受けられる      | <input type="checkbox"/> セミナーや研修に参加できる        |
| <input type="checkbox"/> SDGs の取組に関する相談が受けられる  | <input type="checkbox"/> 県が積極的な PR 活動を展開してくれる |
| <input type="checkbox"/> SDGs に関する情報提供が受けられる   |   |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )          |   |

9.2 組合として、この SDGs 認証制度について期待する効果について、**あてはまるものをすべて選んで☑してください。**

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 組合のブランドイメージの向上     | <input type="checkbox"/> 組合の知名度・プレゼンスの向上     |
| <input type="checkbox"/> 組合員企業からの組合に対する評価向上 | <input type="checkbox"/> 組合員数の増加・脱退防止        |
| <input type="checkbox"/> 組合職員の人材確保・育成       | <input type="checkbox"/> 組合職員のモチベーション向上      |
| <input type="checkbox"/> 金融機関からの評価向上        | <input type="checkbox"/> 円滑な資金調達             |
| <input type="checkbox"/> 認証取得組織の交流・連携促進     | <input type="checkbox"/> 組合や組合員企業との取引先との関係強化 |
| <input type="checkbox"/> 新たな事業機会の創出・獲得      | <input type="checkbox"/> 組合の新事業・新サービスの創出     |
| <input type="checkbox"/> 特にない・わからない         |  |
| <input type="checkbox"/> その他→具体的に ( )       |  |

### Ⅴ. SDGs に関連する問題など

10 組合あるいは組合員企業において、SDGs への対応や SDGs の取組が不十分なことが要因となって発生した問題等があれば、具体的な内容について教えてください（自由記入）。

(例) 取引先企業からの信用失墜。取引企業から「CO2削減」等の環境対策要請があった。資金調達の際に SDGs の取組が評価された。同業社が SDGs に取り組んだことで人材確保に効果があった。等

アンケート調査、ヒアリング調査へのご協力誠にありがとうございました

## 連絡先

奈良県中小企業団体中央会

〒631-0824

奈良市西大寺南町8番33号

奈良商工会議所会館 3階

<https://www.chuokai-nara.or.jp/chuokai/>

TEL : 0742-41-3200

FAX : 0742-41-0125